INAX

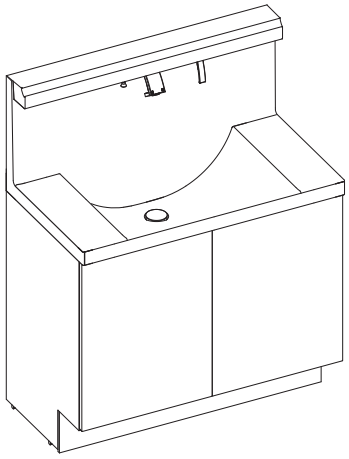
保証書付

洗面化粧台

L. C.〈エルシィ〉

取 扱 説 明 書

このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。
ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ正しく安全にお使いください。
※取扱説明書にはご使用方法などを掲載しています。お手入れの内容は別冊「お手入れガイド」に掲載しておりますので、あわせてご覧ください。



取扱説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。不適切な使用により事故が生じた場合、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
※この取扱説明書とお手入れガイド、水栓・機器類の取扱説明書は必要なときにすぐ取り出せるところへ保管してください。
※転居される場合、次に入居される方にこの説明書とお手入れガイドをお渡しください。

取付業者さまへ
取扱説明書と**お手入れガイド**は必ずお客さまにお渡しください

品番を調べる …… 1
●本体に貼ってあるラベルを見る……1
各部のなまえ …… 2
安全上のご注意…… 4
●表示マークについて……4
●絵表示について……4
使用時のご注意…… 9
●故障をおこさないためにお守りください……9

ご使用方法 ……11
●湯・水を使う ……11
●排水栓を開閉する ……12
●棚板を取り付ける ……13
●扉を開閉する ……14
●引出しを開閉する ……15
●引出しの取外し・取付け ……17
●オプション機能……20

長くお使いいただくために …22
●スイッチパネル・ベースプレートのお手入れ…22
●水栓金具からの吐出が少ない・吐水状態が乱れていると感じたら……22
●扉の開閉がスムーズでないと感じたら……25
●プッシュ扉が開閉しにくいと感じたら……28
●引出しの調節方法 ……29
●タオル掛がゆるんできたら……32
冬期凍結の恐れがある場合 …33
●水栓金具の水抜き ……33

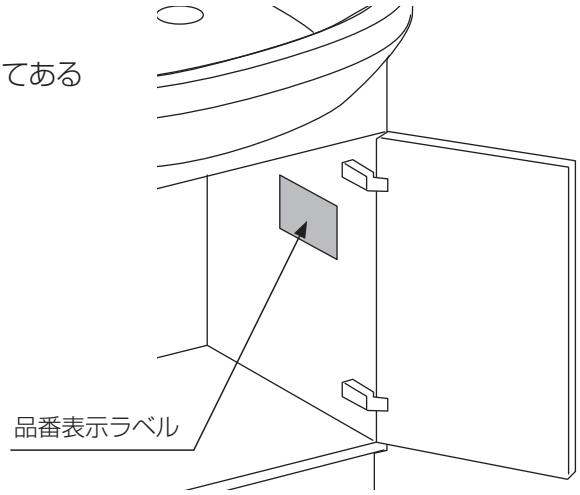
故障かな？と思ったら……34
アフターサービスについて …36
●修理を依頼される前に……36
●保証書をご覧ください……36
●修理を依頼されるとき……37
●部品の保有期間について ……37

仕様……38
廃棄について ……44
保証書……45

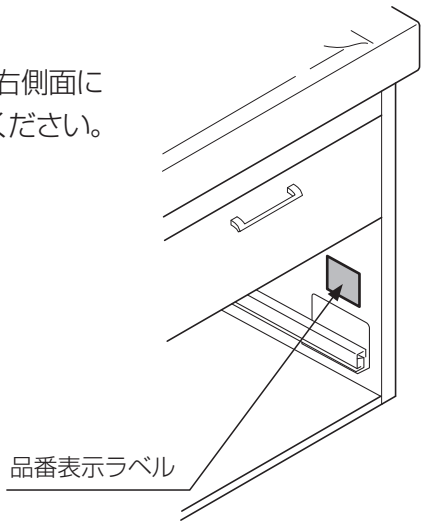
品番を調べる

本体に貼ってあるラベルを見る

洗面化粧台(扉・引出タイプ)
扉を開けて、キャビネット内部の右側面に貼ってある品番表示ラベルで品番を確認してください。



洗面化粧台(フルスライドタイプ)
下段の引出しを引き出し、キャビネット内部の右側面に貼ってある品番表示ラベルで品番を確認してください。



その他のキャビネット
キャビネット本体内部の側面に貼ってある品番表示ラベルで品番を確認してください。

例）洗面化粧台品番表示ラベル

品番
LCW1-755SY/VP2H

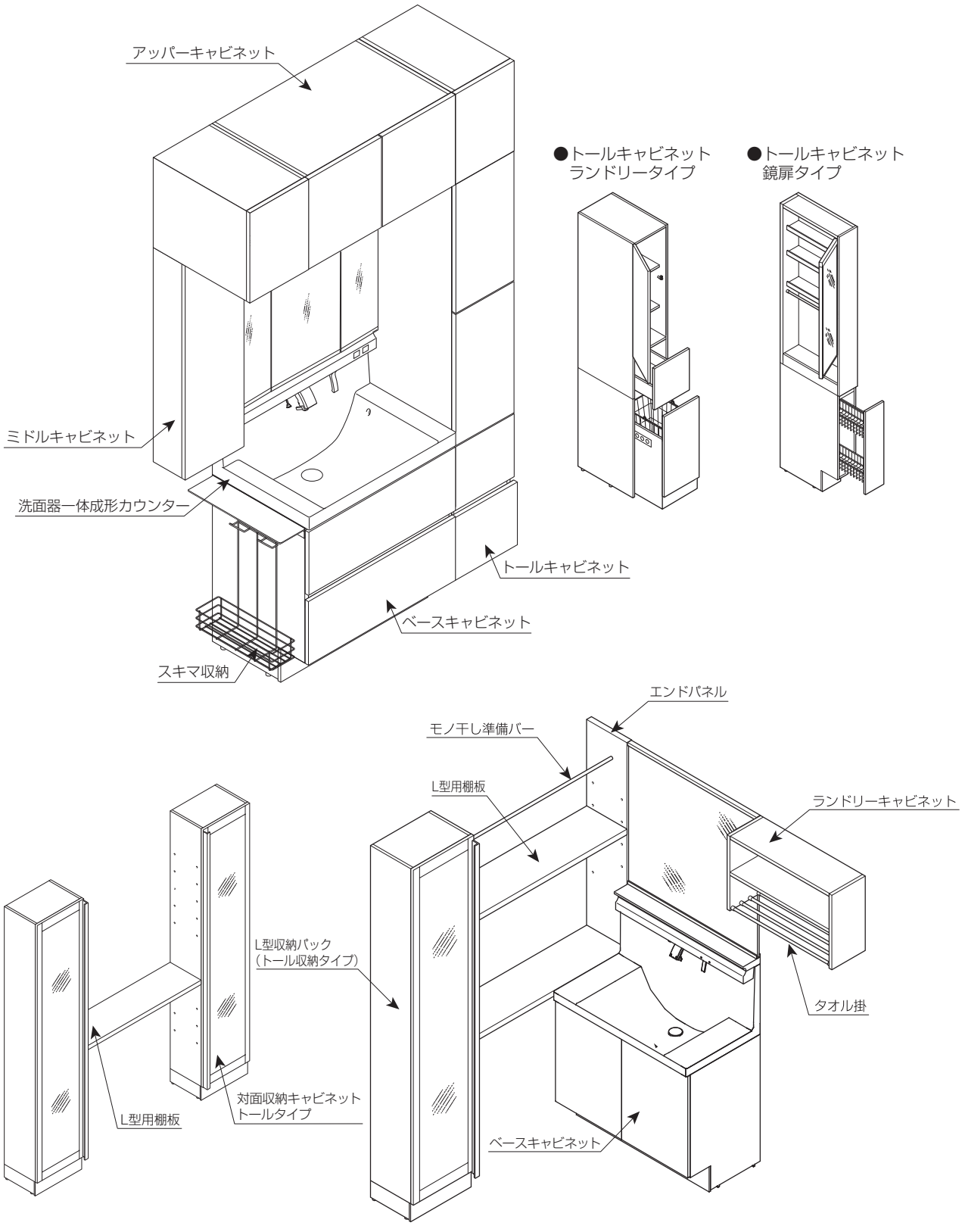
製造番号
A0101-091500001

修理のご依頼は、
お求めの販売店または
INAXメンテナンス
0120-1794-11
http://www.i-mate.co.jp
株式会社 LIXIL

各部のなまえ

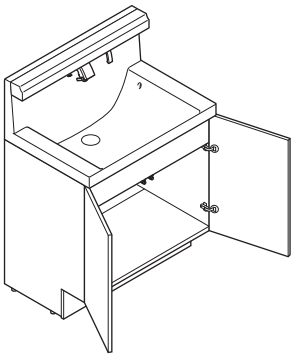
・商品の仕様はお客さまに断わりなく変更することがあります。
・図は商品の例示であり、実際の商品と異なる場合があります。

キャビネットの名称

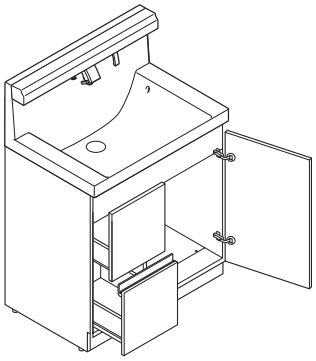


化粧台の種類

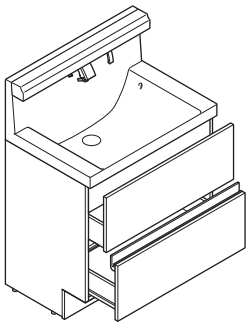
●扉タイプ



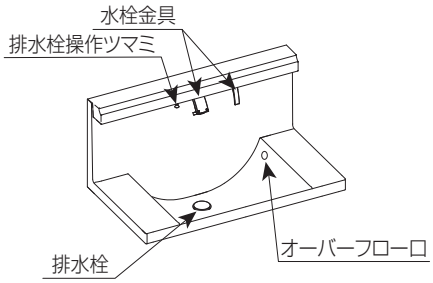
●引出タイプ



●フルスライドタイプ

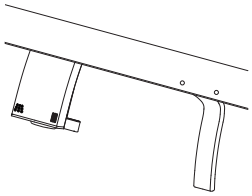


洗面器の器具名称

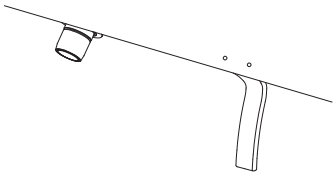


水栓金具の種類

●シングルレバーシャワー水栓
（LF-HC397SY(N)-MB）

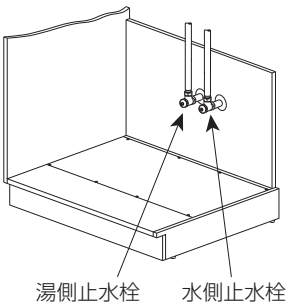


●シングルレバー混合水栓
（LF-HC390SY-MB）

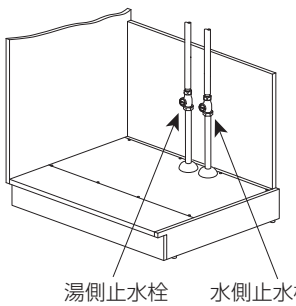


配管部分の名称

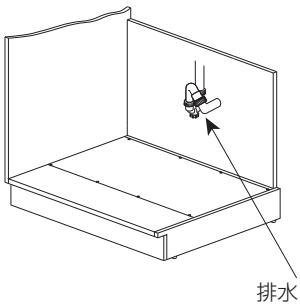
●壁給水



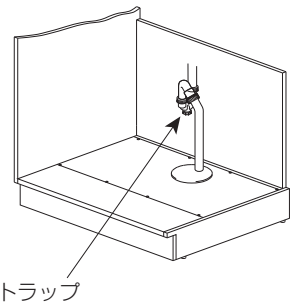
●床給水



●壁排水



●床排水



安全上のご注意（必ずお守りください）

※ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
※組み込まれている機器や付属品については、それぞれの取扱説明書および製品本体表示をご覧のうえ、ご使用ください。

表示マークについて

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示マークで区分し、説明しています。

⚠ 警告……この表示の欄は「死亡または重傷等を負う可能性が想定される」内容です。

⚠ 注意……この表示の欄は「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

絵表示について

お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

……この絵表示は気を付けていただきたい「注意喚起」の内容です。

……この絵表示はしてはいけない「禁止」の内容です。

……この絵表示は分解してはいけない「禁止」の内容です。

……この絵表示は触っていけない「禁止」の内容です。

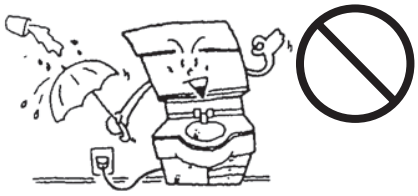
……この絵表示は必ず実行していただく「強制」の内容です。

……この絵表示は電源プラグをコンセントから抜いていただく「強制」の内容です。

⚠ 警告

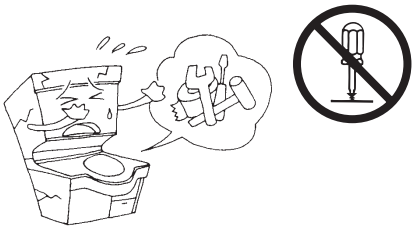
スイッチ・コンセント・電源プラグなどの電気部品に水をかけない。
また、ぬれた手で触らない。

※感電や故障、漏水の恐れがあります。



改造や修理技術者以外による分解・修理を行わない。

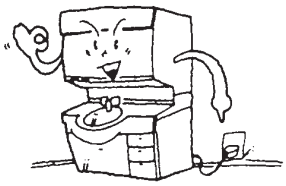
※感電や漏水、発熱・発火による火災の恐れがあります。



⚠ 注意

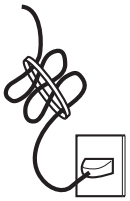
電源は必ず適正配線された専用の100Vコンセントから取ってください。

※電気容量を超えると、コードが発熱して火災の恐れがあります。



電源コードを束ねたまま使用しない。

※コードが発熱して火災の恐れがあります。



電気機器の電源プラグは定期的にコンセントから抜き、乾いた布でホコリや湿気をふき取ってください。

※ホコリや湿気がたまると、トラッキングによる火災の恐れがあります。

扉が傾いたりガタついている場合は、扉の調整や付けなおしを行ってください。

※扉が外れ、落下によりケガをする恐れがあります。（扉の調整・取付けは25～27ページをご覧ください。）

商品がガタついたり破損や故障した場合は、ただちに使用を中止し、修理を依頼してください。

※使用を続けると、より大きな損害を引き起こしたり、ケガをする恐れがあります。（36ページをご覧のうえ修理・点検を依頼してください。）

※電気機器が組み込まれた化粧台では、使用中止の際必ずスイッチを切り、電源プラグを抜いてください。

洗剤類、薬剤はそれぞれの「使用上の注意」に従い、使用してください。

※誤った使用により商品が変形・破損し、ケガをする恐れがあります。

固形または粉末の塩素系洗浄剤や漂白剤を使ったり、近づけたりしない。

※金属やゴムを腐食・劣化させ、漏水する恐れがあります。

⚠ 注意

排水口にシンナーなどの有機溶剤や薬品を流さない。

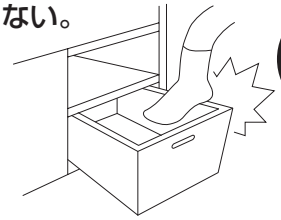
※排水部材が破損し、漏水する恐れがあります。

除光液やクレンジング剤などの化粧品、整髪料、芳香剤、洗剤などが付着したまま放置しない。

※化粧品や洗剤の中には樹脂に悪影響を与えるものもあります。
※放置するとヒビ割れや変形が発生して商品が破損し、ケガや漏水を引き起こす恐れがあります。すぐにふき取ってください。

カウンターや引出しに乗ったり、扉、取っ手などにぶら下がったりしない。

※無理な力をかけると部材が破損・落下し、ケガをする恐れがあります。



鏡やアルミ枠扉に手をついたり、たたいたりしない。

※無理な力をかけると、鏡や樹脂板が割れてケガをする恐れがあります。

扉を大きく開けすぎない。

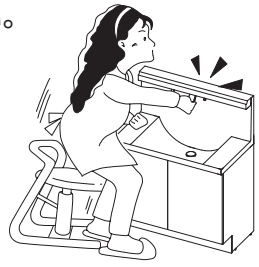
※扉が外れてケガをする恐れがあります。

凍結が予想される場合は、つぎの対策を実施してください。

●水抜き栓がない場合…水栓金具から少量の水を出したままにしてください。
●水抜き栓がある場合…建築側配管と水栓金具の水抜き操作を行ってください。(33ページ参照)
※実施しない場合、配管が凍結破損して漏水し、拡大損害発生の恐れがあります。

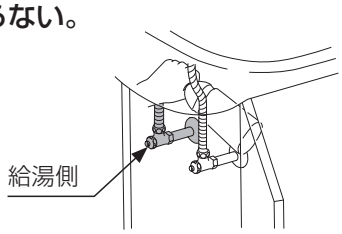
水栓金具を手すり代わりにしたり、引っ張ったり無理な力をかけない。

※水栓金具が破損・脱落し、漏水やケガの恐れがあります。



お湯の使用中、使用直後はキャビネット内の給湯側配管に触らない。

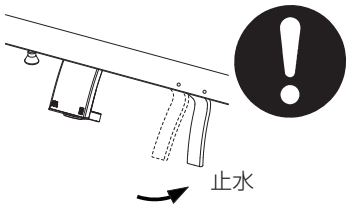
※熱湯が通って高温になっているため、ヤケドをする恐れがあります。



⚠ 注意

断水時は水栓金具のレバーハンドルを必ず「止水」の位置にしてください。

※「吐水」の位置で断水が終了すると、水があふれ家財などをぬらす拡大損害の恐れがあります。



横引き管やトラップなどの配管に力をかけたり、引っ張ったりしない。
また、収納物が接触しないよう、気をつけてください。

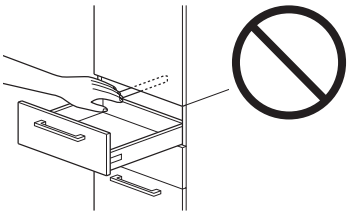
※ナットなど接続部がゆるみ、漏水する恐れがあります。

洗面器に熱湯を注がない。

※急激な温度変化により洗面器が割れて、漏水や拡大損害発生の恐れがあります。常温の水をためてから注いでください。

キャビネットのレールや蝶番にさわらない。

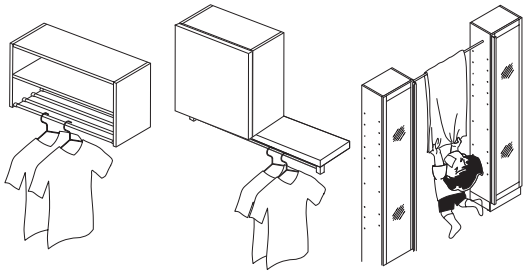
※指を挟んだり、金具でケガをする恐れがあります。小さなお子さまの使用時は特に注意してください。



●モノ干し準備バーやランドリーキャビネットのタオル掛、ハンガー収納にぶら下がったり、掛けたタオルなどを強く引っ張ったりしない。

●許容つり下げ重さを守って使用してください。

※バーが破損・変形して落下し、ケガをする恐れがあります。



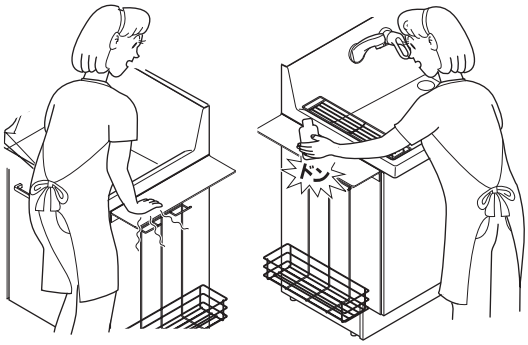
●スキマ収納は許容積載量を守ってご使用ください。棚板、ラックの許容積載量は5kgまでです。

●物を乗せるときは、勢いよく乗せないでください。

●棚板には手をついて体重をかけないでください。

※カウンター、ラックが破損・落下しケガをする恐れがあります。

※許容積載量は底面に平均的に物を乗せた場合の値になります。

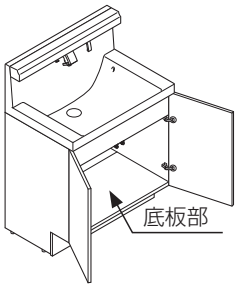


⚠ 注意

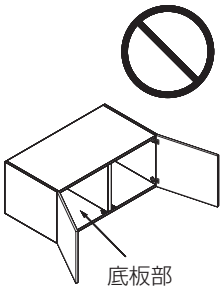
●底板部にものを入れすぎない。ベースキャビネット、アッパーキャビネットの許容積載量10kgです。許容積載量を守ってご使用ください。

※許容積載量は底面に平均的に物を乗せた場合の値になります。

※底板がたわみ、収納物が倒れるなどして思わぬ被害の原因になる恐れがあります。



ベースキャビネット



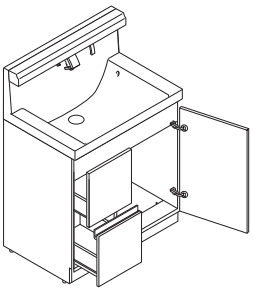
アッパーキャビネット

●引出しにものを入れすぎないでください。

※引出しが出し入れしにくくなったり、レールが故障する原因となったり、またケガをする恐れがあります。

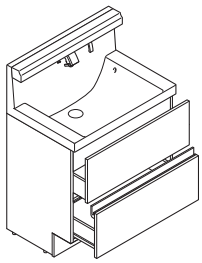
許容積載量
引出しタイプ：1段あたり4kg以下
その他：引出底面100cm^{2}あたり0.5kg以下

※許容積載量は底面に平均的に物を乗せた場合の値になります。



引出タイプ

4kgまで



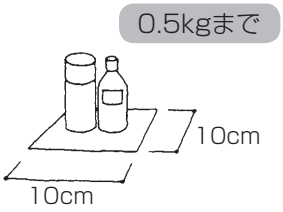
その他

引出し100cm^{2}あたり0.5kgまで

棚やトレイに物を乗せすぎない。許容積載量を守ってご使用ください。

※棚などが破損・落下し、ケガをする恐れがあります。

許容積載量
10cm×10cm(100cm^2)あたり0.5kg以下



※許容積載量は底面に平均的に物を乗せた場合の値になります。

キャビネット内に塩素系、酸性の薬品・洗剤類を保管する場合は、保管方法に注意してください。

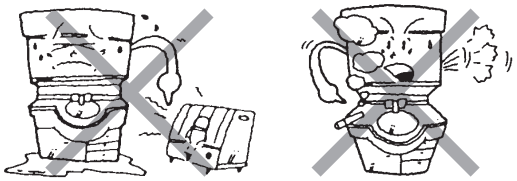
※腐食性ガスが発生すると、蝶番・レールのサビや扉・引出しの開閉動作不良の原因になります。塩素系、酸性の薬品・洗剤類を保管する場合は、キャップを確実に閉めてください。キャビネットや容器に付着した場合は、すぐにふき取ってください。

使用時のご注意

故障をおこさないためにお守りください

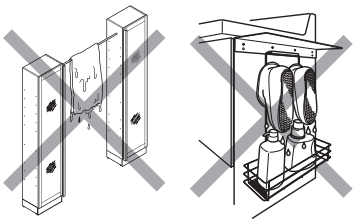
お願い

ヒーターなどの熱源やタバコ・マッチなどの
火気を近づけない。
※変形やコゲ跡がつく原因となります。



キャビネットをぬれたまま放置しない。
ぬれたらすぐにふき取ってください。
※扉、引出し、ベースキャビネット、トールキャビネットの側面の木部が水を含んでふくらんだり、表面がはがれる原因となります。
※アルミ枠扉の樹脂板が水を含むと、変形する場合があります。

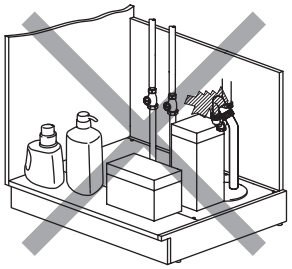
●モノ干し準備バーやランドリーキャビネットのタオル掛に洗濯物をかける際は、水気をできるだけ落としてください。
●スキマ収納のラック部にバスブーツを収納する際は、水気をできるだけ落としてください。
※周囲のキャビネットが水を含んでふくらんだり、表面がはがれる原因となります。


L型収納キャビネット　スキマ収納

直射日光やスポット照明、殺菌灯などを当てない。
※変色や変形の原因となります。直射日光はカーテンなどで必ずさえぎってください。

カウンターや洗面器に固いものを落とさない。
※キズやヒビ割れ、破損の原因となります。

キャビネットの中にものをたくさん入れすぎないでください。
※収納物が配管に当たり、漏水する恐れがあります。
※引出しから収納物が後ろに落下して破損したり、配管に当たって漏水する恐れがあります。



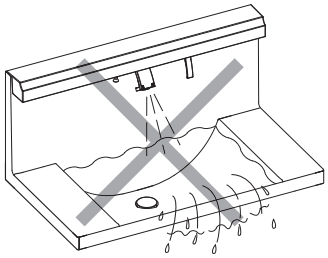
お願い

除光液、化粧品、整髪料、毛染め剤、脱色剤、うがい薬、漂白剤、酸性洗剤などが付着したまま放置しない。すぐにふき取ってください。

※放置すると変色や変形、ヒビ割れの原因となります。

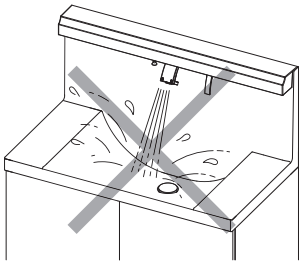
水ためは「整流」で行ってください。

※シャワーで行うと、水面が波立ち水があふれる場合があります。



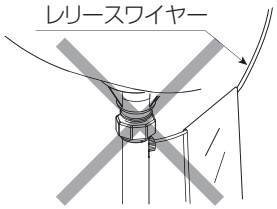
水はねが多い場合は吐出流量を調整してください。

※調整方法は24ページをご覧ください。



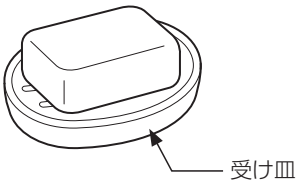
排水器具のレリースワイヤーに物をかけたり、引っ張ったりしないでください。
また、収納物が接触しないよう気をつけてください。

※レリースワイヤーが切断、破損して、排水栓が開閉できなくなる場合があります。



●カウンターや洗面ボウルに直接石けんを置かないでください。必ず受け皿を使用してください。
●ハンドソープ容器や受け皿の下は石けんカスがたまりやすいので、こまめにふき取ってください。

※石けんカスが付いたまま長時間放置すると、カウンターが変色したり光沢がなくなる恐れがあります。



当社品以外の吸盤付きタオル掛、吸盤付石けん置きなどを使用しないでください。

※カウンターやキャビネットに吸盤を貼ると、貼った周辺が変色する場合があります。

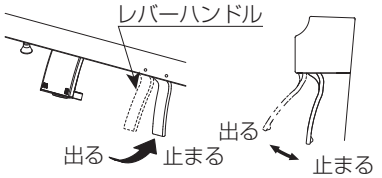
ご使用方法

湯・水を使う

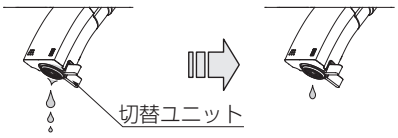
詳しくは、水栓金具の取扱説明書をご覧ください。

水を吐出する

レバーハンドルを上げると吐出します。レバーハンドルの上げ具合で吐出量を調節します。
※レバーハンドルはどの位置でも下げると止水します。

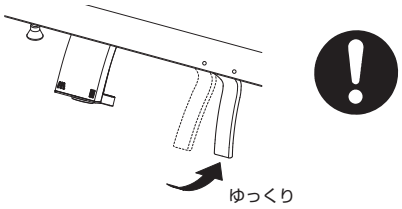


レバーハンドルを下げて水を止めた後に少しの間水が垂れますが、故障ではありません。
※構造上、切替ユニットの内部に溜まった少量の水が排出されます。



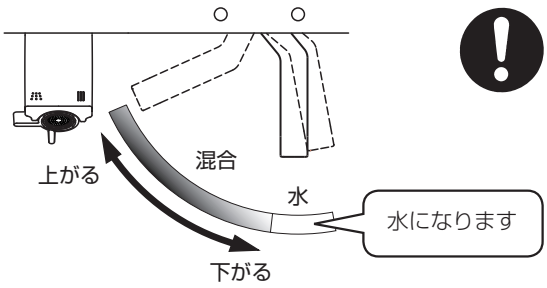
⚠ 注意

レバーハンドルはゆっくり操作してください。
※急に開閉すると急激な圧力変動により配管が破損し、漏水で家財などをぬらす拡大損害の恐れがあります。



温度を調節する

レバーハンドルが下の位置にあるとき水になり、左方向へ回すと吐水温度が上がります。



⚠ 注意

●湯を使うときは、水を出しながらレバーハンドルをゆっくりと水側から湯側へ回してください。
※急に回すと湯温が急上昇してヤケドをする恐れがあります。

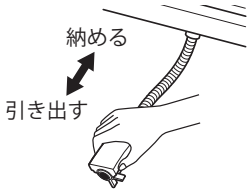
●高温の湯を使った後は、レバーハンドルを水側に戻し、水を少し流してから止めてください。
※次に使うとき、突然高温の湯が出てヤケドをする恐れがあります。

ワンポイント

湯が混ざり始める位置をクリックでお知らせします。

ハンドシャワーを引き出す(シャワー水栓のみ)

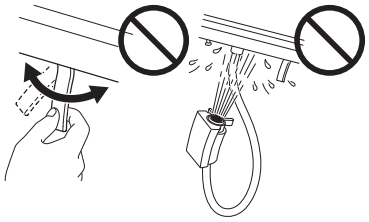
ハンドシャワーを持ち、台座から引き出します。
使い終ったら、必ず台座に戻してください。



⚠ 注意

●吐水部に無理な力を加えない。
※破損や漏水で家財などをぬらす財産損害発生の恐れがあります。

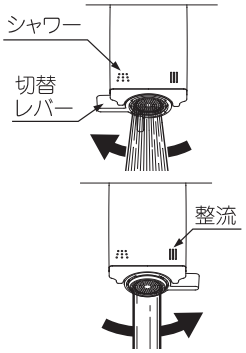
●ハンドシャワーの引出口やスイッチパネルに水をかけない。
※キャビネット内に水が浸入し、家財などをぬらす財産損害発生の恐れがあります。



整流・シャワーを切り替える(シャワー水栓のみ)

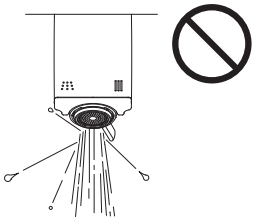
シャワー　シャワー「 ⁞⁞ 」(左側)に切替レバーを合わせます。

整 流　整流「 ||| 」(右側)に切替レバーを合わせます。



ワンポイント

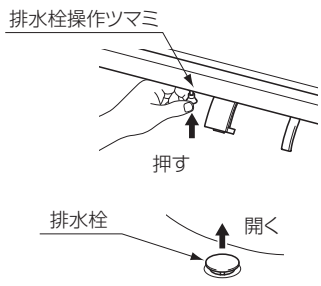
切替レバーはシャワー(左)または整流(右)にしっかりと止まるまで回し、確実に切り替えてから水を出してください。
※中間位置で水を出すと、吐水が乱れて水の飛び散りや洗面器での水はねが激しくなり、壁や床をぬらす場合があります。



排水栓を開閉する

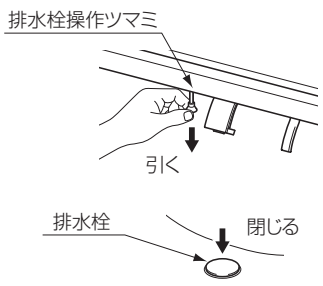
排水栓を開く

排水栓操作ツマミを押します。



排水栓を閉じる

排水栓操作ツマミを引きます。



棚板を取り付ける

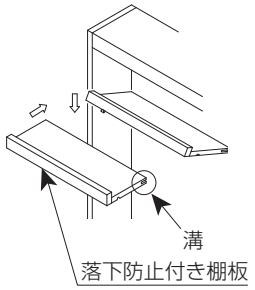
⚠ 注意

**棚ダボや棚受けは奥まで確実に差し込み、棚がガタツキなどなく
しっかりはまっていることを確認のうえ使用してください。**

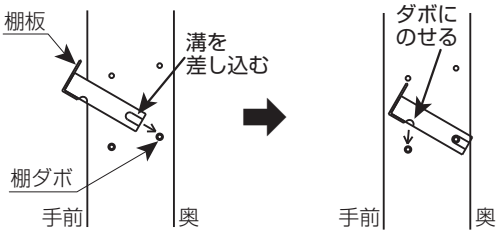
※差込みや取付けが不十分だと、棚板や収納物が落下して破損やケガの恐れがあります。

トールキャビネット(間口150タイプ)の場合

①キャビネット側面の取付穴に棚ダボ(棚1枚につき4個)
をしっかり差し込みます。
※棚板の高さは棚ダボの差込位置により決まります。

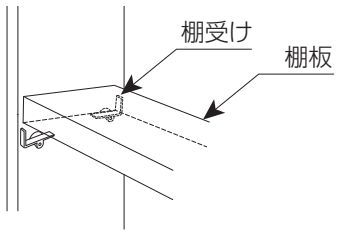


②棚ダボに棚板を取り付けます。
棚板背面の溝を奥の棚ダボ(2ヶ所)に差し込んでから、
裏面のくぼみを手前の棚ダボ(2ヶ所)に乗せます。

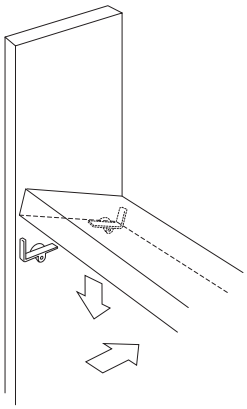


L型収納パック・対面収納用棚板(BB-LCW-T130)の場合

①キャビネット側面の取付穴に棚受け(棚1枚につき4個)
をしっかり差し込みます。



②棚板を奥の棚受け(2ヶ所)に乗せたまま手前に倒し、手
前(2ヶ所)の棚受けに乗せます。
※棚板が手前と奥の棚受けにしっかりはさまれて、ガタ
ツキなどないことを確認してください。



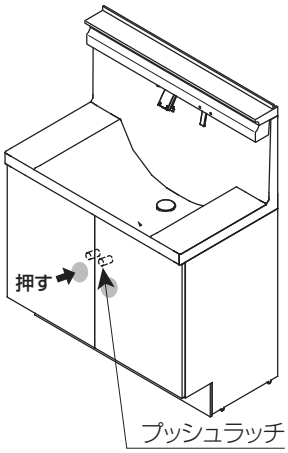
棚板の取外しは、取付けと逆の手順で行ってください。

扉を開閉する

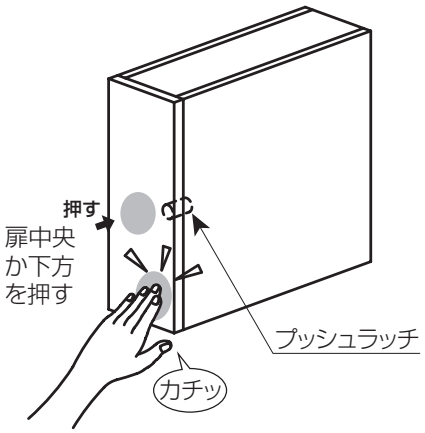
扉を開ける　プッシュラッチ付近を指で押すとロックが解除され、扉が開きます。

扉を閉める　プッシュラッチが「カチッ」と音がするまで扉を押し込みます。

●ベースキャビネット



●ミドルキャビネット
アッパーキャビネット

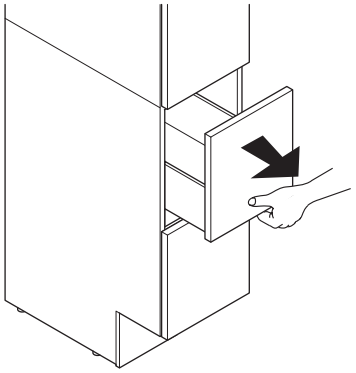


引出しを開閉する

2段引出しの場合

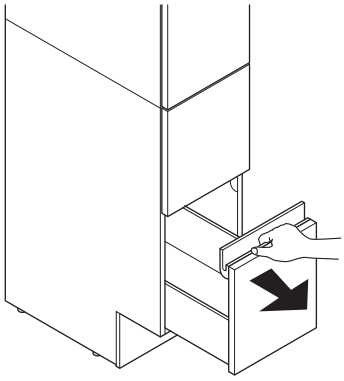
上段引出しを開ける

上段引出しの下方を持ち、手前に引き出します。



下段引出しを開ける

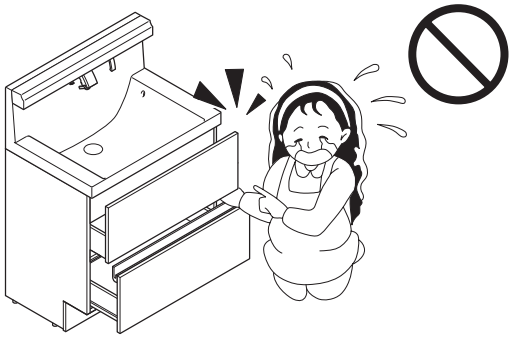
下段引出しの上方を持ち、手前に引き出します。



⚠ 注意

上段・下段を同時に開けない。

※上下の引出しで手をはさみ、ケガをする恐れがあります。



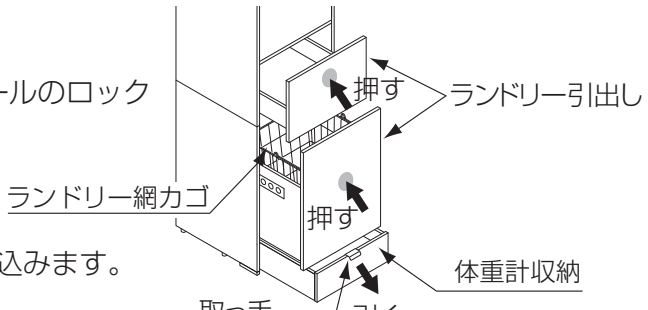
ランドリー引出し、トールキャビネット(間口150)引出しの場合

引出しを開ける

引出しの中央付近を指で押すと、引出しレールのロックが解除され、引出しが開きます。

引出しを閉める

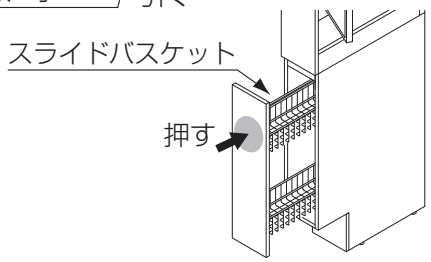
引出しをロックがかかって止まるまで押し込みます。



体重計収納について

●底面にキャスターが付いているので、取っ手を持って手前に引き出してください。

●上から15kg以上の荷重がかかると、キャスターのストッパーがかかり、体重計を収納したまま乗って計測することができます。(許容体重15～80kg)

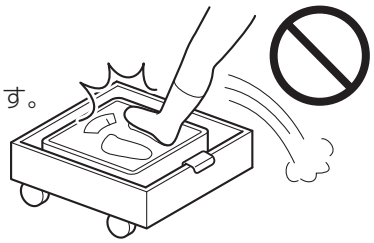


⚠ 注意

●体重計収納には勢いをつけて乗り降りしない。

●お子さまや体重15kg以上の方は使用しない。

※体重計収納のストッパーが利かず、転倒してケガをする恐れがあります。



●ランドリー網カゴには重いものを入れないでください。

※破損する恐れがあります。

※1個あたりの許容積載量は下記のとおりです。

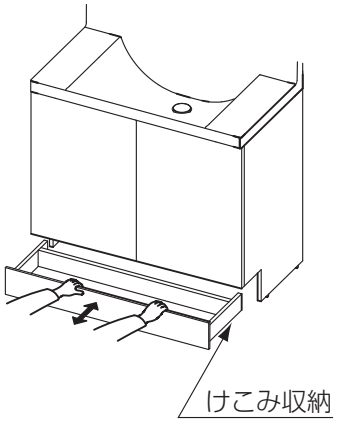
スライドバスケット	4.0kg
ランドリー網カゴ	間口450mm、間口300mmキャビネット用 10kg

●ぬれた洗濯物などを入れないでください。

※カゴがサビたり、木が水を含み、傷む恐れがあります。

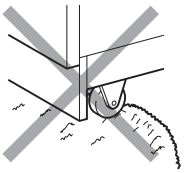
けこみ収納の場合

●底面にキャスターが付いているので、引出しの上方を持って前に引き出してください。



体重計収納やけこみ収納の前および下にカーペットやバスマットを敷かないでください。

※キャスターに糸がからみ、動きにくくなる場合があります。



けこみ収納の中に物を入れすぎない。
許容積載量を守ってご使用ください。

※けこみ収納が破損し、ケガをする恐れがあります。
※許容積載量は底面に平均的に物を乗せた場合の値になります。
許容積載量＝10cm×10cm(cm^2)あたり0.5kg以下

引出しの取外し・取付け

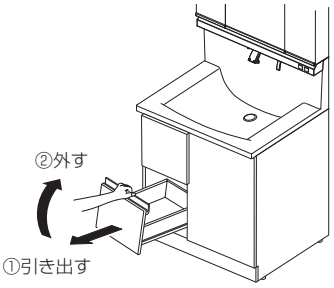
ベースキャビネット・トールキャビネット(2段引出し)の場合

■取り外す

①引出しを最後まで引き出します。
②引出しを持ち上げて外します。

■取り付ける

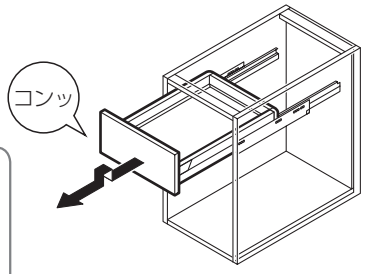
取外しと逆の手順で取り付けます。



ベースキャビネット(フルスライドタイプ)の場合

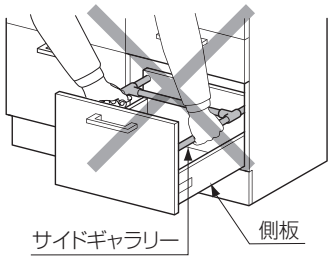
■取り外す

引出しを止まるところまで引き出し、一度上に持ち上げ(コンッという音がしてロックが外れます)てから、さらに手前へ引き出します。



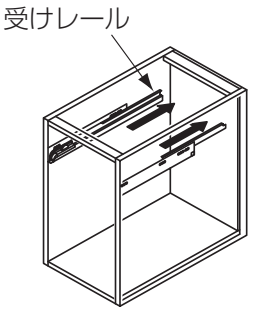
取り外す際は、引出し側板または底面を持ってください。

※サイドギャラリーを持つとパイプが引出しから外れるので、持たないでください。



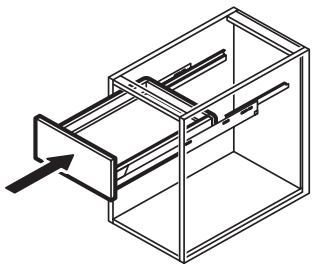
■取り付ける

①ユニット本体側の受けレールを奥まで押し込みます。



②引出しを受けレールに乗せ、奥まで押し込みます。
その際、カチャカチッと音がしてロックされます。

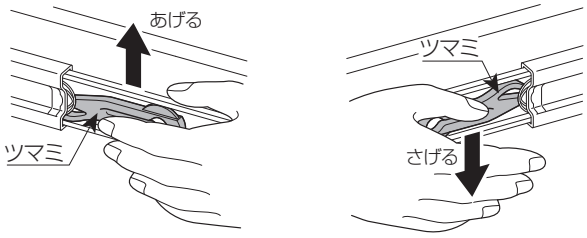
③取付後、数回引出しを開閉して、ガタつきや異音がないか、持ち上げても外れないか、確認してください。

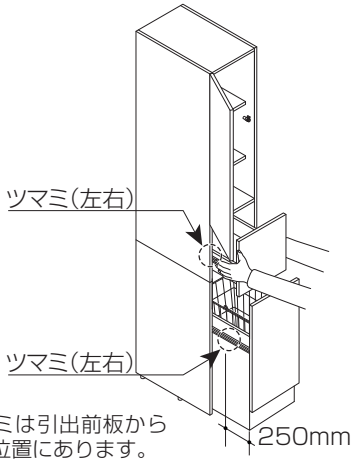


トールキャビネット(ランドリータイプ)の場合

■取り外す

①引出しを最後まで引き出します。
②引出し側面のレールのツマミを指で押し(左側は上げる、右側は下げる)、手前に引きます。





※レールのツマミは引出前板から約250mmの位置にあります。

■取り付ける

①キャビネット本体側のレールを手前に引き出し、引出し側のレールと合わせます。
②引出しを最後まで押し込みます。
③取付後、引出しを数回開閉させ、ガタつきや異音がないか、持ち上げても外れないか確認してください。

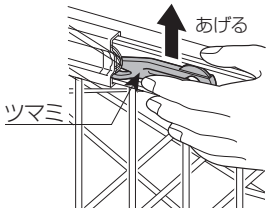
トールキャビネット(間口150タイプ)の場合

■取り外す

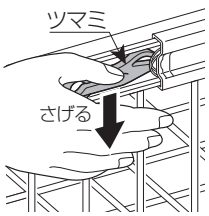
①引出しを最後まで引き出します。

● Lタイプの場合(LCW1S-155ML、LCJ1S-155L)
②下レールのツマミを上げ、手前に引きます。
③上レールのツマミを上げ、そのまま引出しを引き出します。

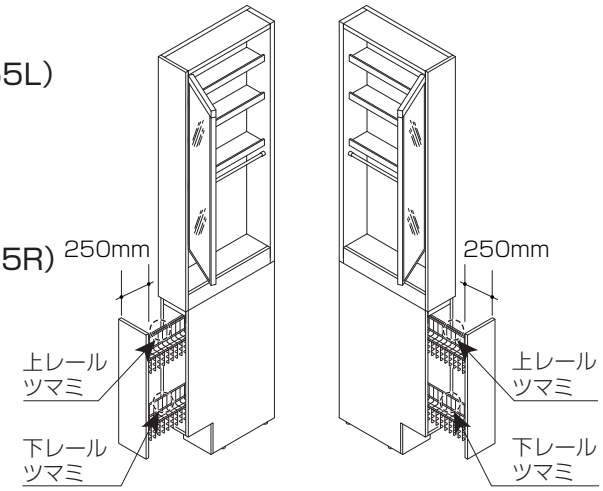
● Rタイプの場合(LCW1S-155MR、LCJ1S-155R)
②下レールのツマミを下げ、手前に引きます。
③上レールのツマミを下げ、そのまま引出しを引き出します。



Lタイプ



Rタイプ



Lタイプ
LCW1S-155ML
LCJ1S-155L

Rタイプ
LCW1S-155MR
LCJ1S-155R

※レールのツマミは引出前板から約250mmの位置にあります。

■取り付ける

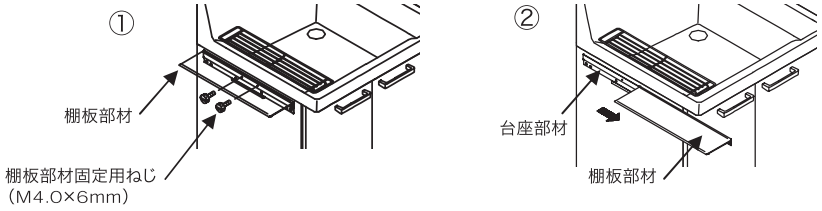
①キャビネット本体側のレールを手前に引き出し、引出し側のレールと合わせます。
②引出しを最後まで押し込みます。
③取付後、引出しを数回開閉させ、ガタつきや異音がしないか、持ち上げても外れないか、確認してください。

オプション機能

スキマ収納(BB-AR１、BB-AR2)の使い方

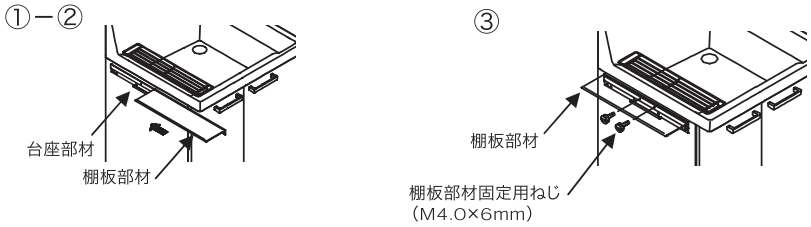
■棚板部材を取り外す

①棚板部材固定用ねじ(２本)をゆるめて取り外します。
②棚板部材を台座部材から手前に引き出します。



■棚板部材を取り付ける

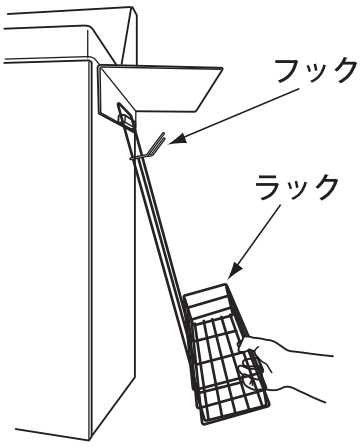
①棚板部材を台座部材にはめ込みます。
②台座部材と棚板部材の前面がそろうように合わせます。
③棚板固定用ねじ(２本)を締めて棚板部材を取り付けます。



ラックの取付け(BB-AR2のみ)

台座部材のフックにラックの上端部分を引っ掛けます。

ラックの底には水受けシートを置いてください。
※床に水が浸り、ふくれ、よごれの原因となる恐れがあります。



⚠ 注意

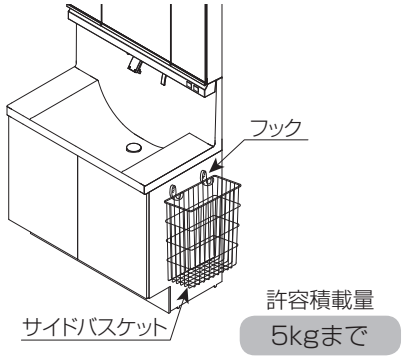
●スキマ収納は許容積載量を守ってご使用ください。
棚板部材、ラックの許容積載量は5kgまでです。
●物を乗せるときは、勢いよく乗せないでください。
●棚板部材には手をついて体重をかけないでください。
※カウンター、ラックが破損・落下しケガをする恐れがあります。

サイドバスケット(BB-TD 1-23)の使い方

フックにサイドバスケットの上縁を引っ掛けます。

サイドバスケットは許容積載量(5kg以下)を守って使用してください。

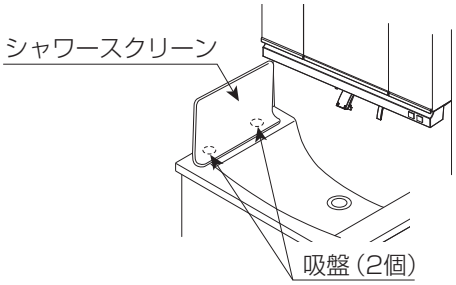
※バスケットやフックが破損する場合があります。



シャワースクリーン(BB-PD2)の取付け・取外し

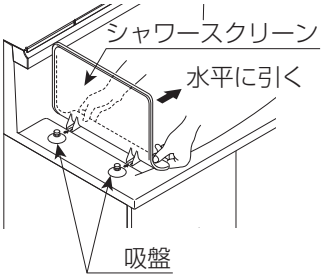
■取り付ける

①吸盤を取り付けるカウンターのホコリや水滴をよくふき取ります。
※取付面にホコリや水滴があると、吸盤の吸着力が弱くなります。
②シャワースクリーンに吸盤を取り付けます。
③吸盤を外側に向け、シャワースクリーンが垂直になるように、カウンターに取り付けます。



■取り外す

シャワースクリーンを内側にスライドさせて、吸盤から外します。



ワンポイント

シャワースクリーンは洗面器周囲への水はねを抑えるためのものです。洗面器から水があふれるのを防ぐことはできません。

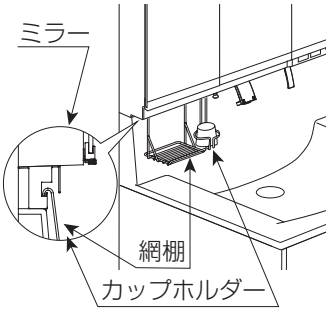
網棚(BM-LC3-22)、カップホルダー(BM-LC3-C)の取付け方

網棚、カップホルダーをミラー棚下の溝に引っかけます。

●カップホルダーは最大直径75mmまでのカップが使用可能です。

●網棚は許容積載量(1kg以下)を守って使用してください。

※カップホルダー・網棚が変形・破損する場合があります。
※イラストは化粧台間口1200mmの場合です。
化粧台間口により、網棚、カップホルダーを取り付けられる個数が異なります。
詳しくは、42ページを参照ください。



長くお使いいただくために

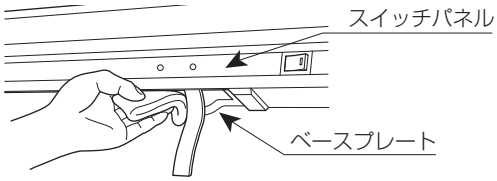
⚠ 注意

凍結が予想される場合は、つぎの対策を実施してください。
●水抜き栓がない場合…水栓金具から少量の水を出したままにしてください。
●水抜き栓がある場合…建築側配管と水栓金具の水抜き操作を行ってください。
（33ページ参照）

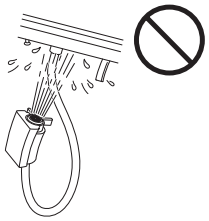
※実施しない場合、配管が凍結破損して漏水し、家財などをぬらす拡大損害の恐れがあります。

スイッチパネル・ベースプレートのお手入れ

●スイッチパネルやベースプレートの汚れは乾いたやわらかい布でふき取ってください。
●ひどい汚れは水ぶきで落とした後、からぶきしてください。



ベースプレートを掃除する際、直接水をかけないでください。
※水がキャビネット内に浸水し、キャビネット内部や収納物をぬらす場合があります。

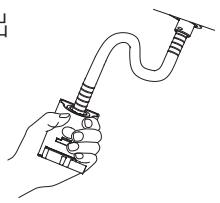


水栓金具からの吐出が少ない・吐水状態が乱れていると感じたら

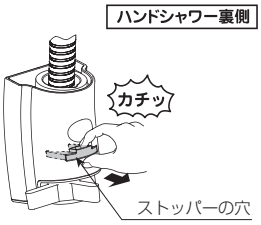
切替ユニットのストレーナーにゴミが詰まると、吐出状態が乱れたり、吐出量が少なくなります。年1回程度、次の要領で掃除してください。

ストレーナーを掃除する際はストッパーの紛失を防ぐため、排水栓を閉じて行ってください。

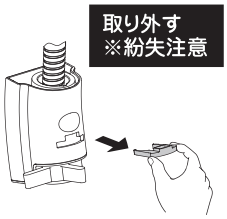
① ハンドシャワーを引き出し、裏側を向けます。



② ストッパーの穴に、指またはマイナスドライバーを入れストッパーを手前に引き出します。
※ドライバーを使用する際は、ハンドシャワーにキズが付かないよう、必ずあて布をしてください。

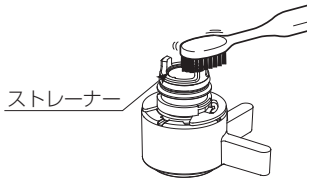


③ ストッパーを取り外します。
※ストッパーの紛失に注意してください。



④ 切替ユニットを引っ張り、取り外します。
※切替ユニットが固く外しにくい場合がありますが、切替ユニットは回さず、まっすぐ引き抜いてください。無理に回すと、切替ユニットが破損する恐れがあります。

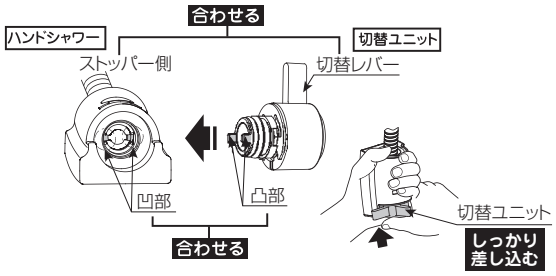
⑤ 取り外した切替ユニットのストレーナー（網）を、歯ブラシなどで掃除します。



吐水口のお手入れ(LF-HC397SY(N)-MBの場合)

⑥ 切替ユニットを向きに注意しながら取り付けます。

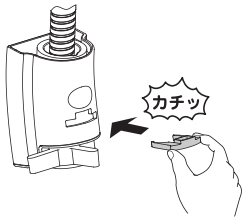
※ハンドシャワーの凹部と切替ユニットの凸部を合わせて、しっかりと差し込みます。このとき、切替レバーをハンドシャワーの裏側(ストッパーのある面)に向けて差し込んでください。



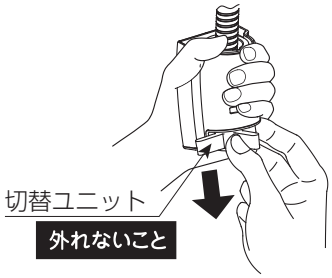
⑦ ストッパーを穴の奥まで押し込みます。(カチッと音がします。)

※奥まで押し込んでいないと、使用中に切替ユニットが外れて破損したり、洗面器にキズが付く場合があります。

※奥まで押し込めない時は、⑥に戻り、切替ユニットの向きに注意しながら取り付け直してください。



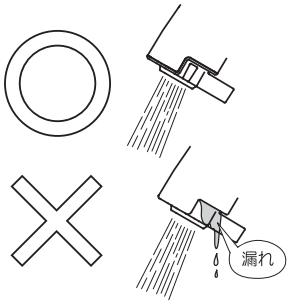
⑧ 切替ユニットを引っ張り、外れないことを確認します。



⑨ 水を出して、吐水の乱れやポタ漏れなど異常がないか確認してください。

※異常のままご使用になられますと、使用中に切替ユニットが外れて破損したり洗面器にキズが付く場合があります。

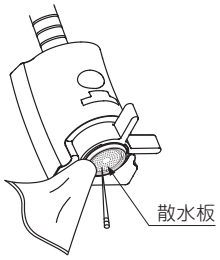
※異常がある場合は、⑥に戻り、切替ユニットの向きに注意しながら取り付け直してください。



散水板の掃除(LF-HC397SY(N)-MBの場合)

散水板が汚れていると、水切れが悪くなってしまいます。日頃から、散水板の表面を水ぶきしてください。

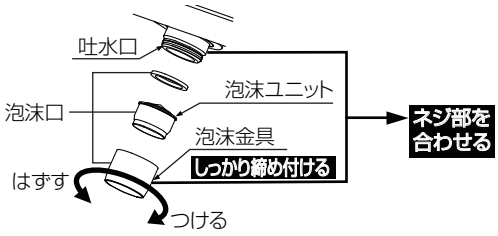
また、散水板に湯アカやゴミがたまると、吐出量が少なくなります。年に1回程度、散水板の穴を針などで刺して、目詰まりを取ってください。



泡沫口の掃除(LF-HC390SY-MBの場合)

吐水口内部のゴミ詰まりは機能を低下させます。

ときどき泡沫口を手で取り外し、泡沫ユニットを水洗いしてください。



ワンポイント

泡沫金具を取り付ける際は、軽く吐水口に泡沫金具を当て、ゆっくりと回してネジ部が合っていることを確認します。ネジ部が合っていれば、回らなくなるまでしっかりと締め付けます。

※目安は2回転ほどです。

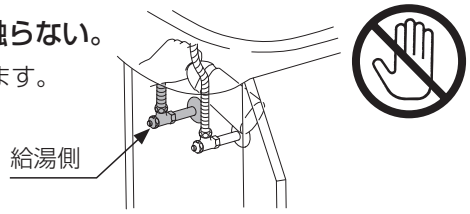
水量を調節する

吐出量の調節は止水栓を操作して行ってください。

⚠ 注意

お湯の使用中、使用直後はキャビネット内の給湯側配管に触らない。

※熱湯が通って高温になっているため、ヤケドをする恐れがあります。



お願い

メンテナンスなどで止水栓を閉めるときは何回転させたかを記録してください。止水栓を元の位置に戻すとき必要です。

※元の位置に戻さないと設定が変わり、湯温が変化したり、洗面器から水があふれる場合があります。

① 水栓金具のレバーハンドルを湯側いっぱいまで回して吐出し、湯側止水栓(向かって左)をマイナスドライバーで回して適量に調節します。

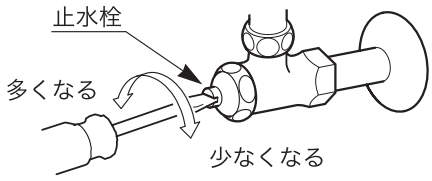
止水栓の操作

水量を多くする……調節部を左に回す
水量を少なくする…調節部を右に回す
閉める……調節部を右に止まるまで回す

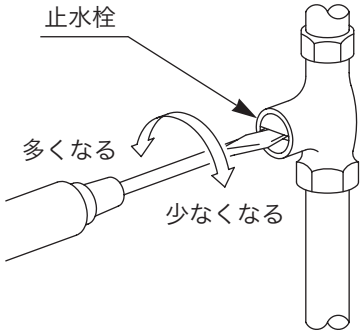
② 水栓金具のレバーハンドルを水側いっぱいまで回して吐出し、湯側いっぱいの吐出量と同じになるよう、水側止水栓(向かって右)をマイナスドライバーで回して調節します。

③ 水栓金具のレバーハンドルを中央(湯と水の中間)の位置で吐出し、水はねを確認します。

●壁給水の場合



●床給水の場合



※上記はドライバー式止水栓の例です。

ワンポイント

レバーハンドルを全開にしたときに、水側または湯側の流量が約8L／min(注1)を超えた場合は、止水栓で流量を調節してください。

(注1)8L／minの目安は、市販の洗面器(容量3L)をいっぱいにするのに約25秒です。

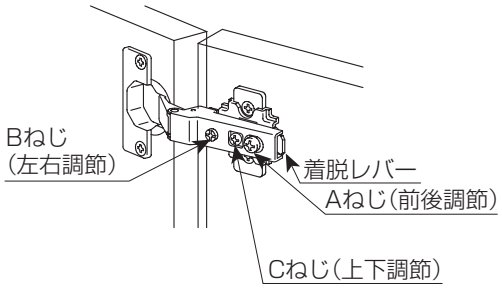
扉の開閉がスムーズでないと感じたら

扉の水平・垂直が正確に出ていないと、スムーズに開閉しないことがあります。
扉がずれている場合は蝶番(ヒンジ)で調節してください。

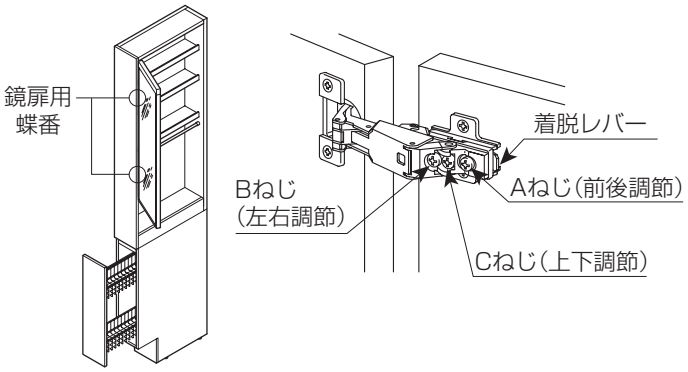
扉の調節

A、B、Cの各調節ねじは扉を取り付けたまま調節可能です。

●標準タイプ



●鏡扉タイプ(トールキャビネット鏡扉タイプのみ)



⚠ 注意

●調節後は必ず、Aねじ、Cねじが固く締め付けられていることを確認してください。
※ゆるんでいると、蝶番が外れて扉が落下し、ケガをする恐れがあります。

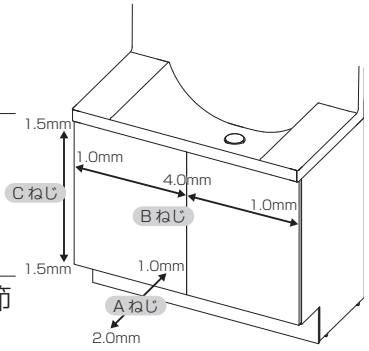
●調節ねじA・B・C以外のねじをゆるめたり外したりしないでください。
※扉が外れてケガをする恐れがあります。

各ねじの調節方向と調節量

Aねじ（前後調節） ねじを軽くゆるめて、扉を前後に少しずつ動かして調節します。
- 標準タイプ ：前へ2mm、後へ1mm
- 鏡扉タイプ ：前へ2mm、後へ2mm

Bねじ（左右調節）
- 標準タイプ　右へ回す→内側へ4mm
- 　　左へ回す→外側へ1mm
- 鏡扉タイプ　右へ回す→内側へ2mm
- 　　左へ回す→外側へ2mm

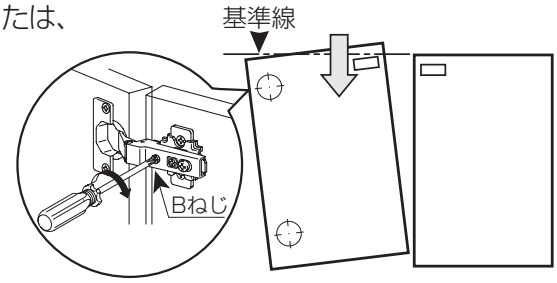
Cねじ（上下調節） ねじを軽くゆるめて、扉を上下に少しずつ動かして調節します。
- 標準タイプ ：上へ1.5mm、下へ1.5mm
- 鏡扉タイプ ：上へ2mm、下へ2mm



※図は標準タイプの場合。
鏡扉タイプは全方向2.0mm

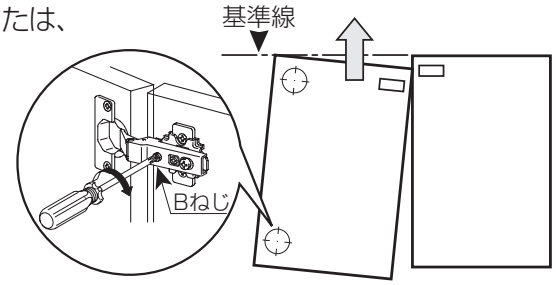
扉の先端が上がっているとき

① **扉上方**の蝶番のBねじを**右**へ回して調節します。または、**扉下方**の蝶番のBねじを**左**へ回して調節します。
② 扉を閉めて位置を確認します。
③ 正しい位置になるまで①、②を繰り返します。



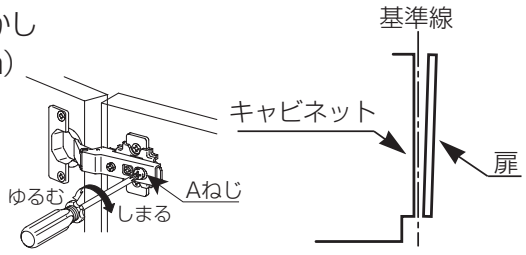
扉の先端が下がっているとき

① **扉下方**の蝶番のBねじを**右**へ回して調節します。または、**扉上方**の蝶番のBねじを**左**へ回して調節します。
② 扉を閉めて位置を確認します。
③ 正しい位置になるまで①、②を繰り返します。



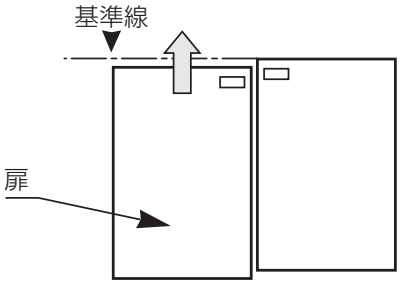
扉と側板のすき間が上下異なるとき

① 扉上方の蝶番のAねじを左へ回してゆるめ、扉を動かして前後の正しい位置にします。(基準値：すき間2mm)
② 正しい位置でAねじを右へ回して締め付けます。



扉の位置が上下異なるとき

① 扉の上下の蝶番のCねじを左へ回してゆるめ、扉を上下させて正しい位置にします。
② 正しい位置でCねじを右へ回して締め付けます。



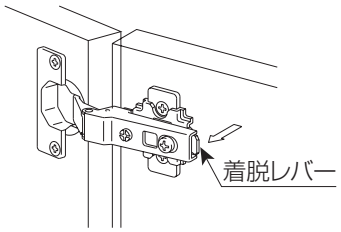
ワンポイント

●Aねじ、Bねじ、Cねじは扉を取り付けたままで調節できます。
●2枚扉(両開き)の場合で、片方の扉だけで調節できないときは、左右の扉で交互に調節を行ってください。

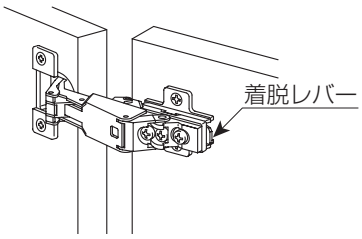
扉の取外し

① 着脱レバーを手前に引っ張ります。

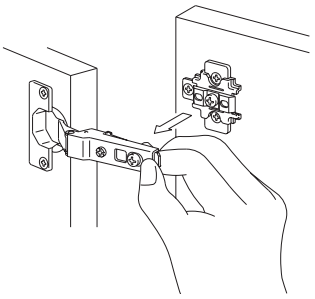
●標準タイプ

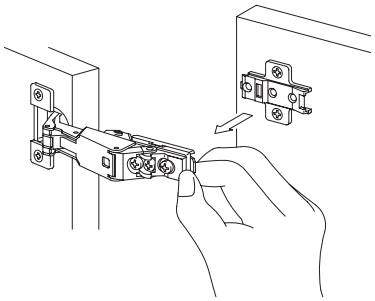


●鏡扉タイプ



② 蝶番を矢印の向きに引っ張って、取り外します。

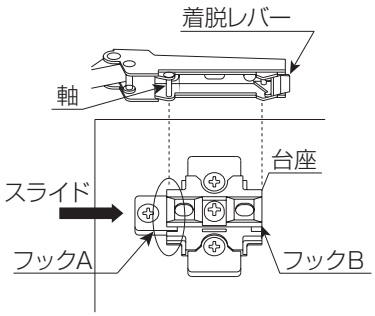




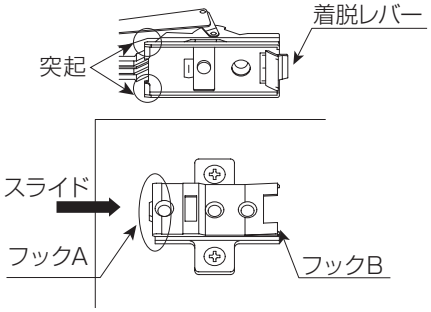
扉の取付け

① 扉を矢印の向きにスライドさせて蝶番の軸または突起をフックAに引っ掛けます。

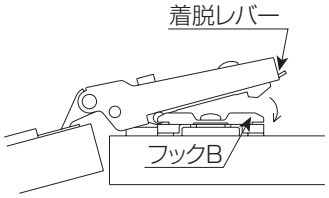
●標準タイプ

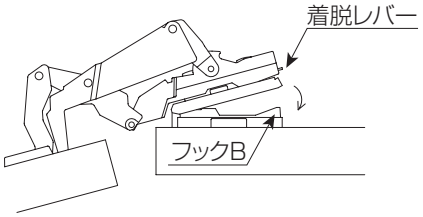


●鏡扉タイプ

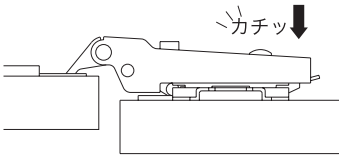


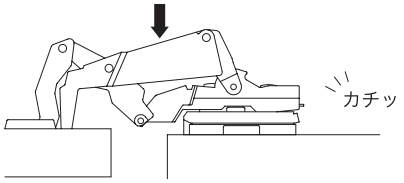
② 着脱レバーをフックBに合わせます。





③ 蝶番を矢印の向きに「カチッ」と音がするまで押します。





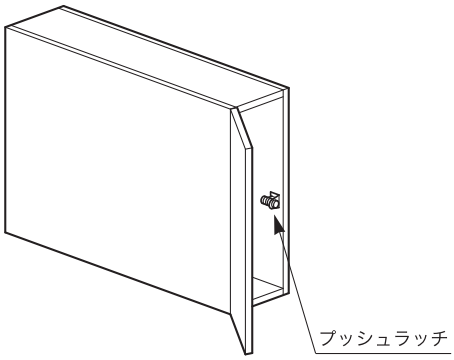
⚠ 注意

扉の取付後は蝶番が台座へしっかりはまっていることを確認してください。

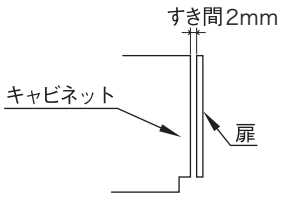
※扉の外れや落下によりケガをする恐れがあります。

プッシュ扉が開閉しにくいと感じたら

扉と本体のすき間が適切でないと、扉を開閉しにくいことがあります。
プッシュラッチの出を調節してすきまを調節してください。

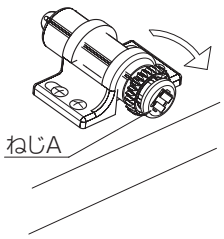


① 扉と本体のすき間を確認して、プッシュラッチを調節します。
（基準値：すき間2mm）



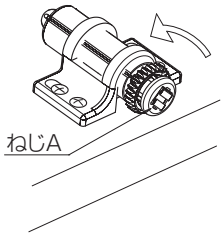
扉が閉まらない（反発して開く）

プッシュラッチのねじを右に回し、すき間を小さくします。



扉を押しても開かない

プッシュラッチのねじを左に回し、すき間を大きくします。



② 扉を開閉してプッシュラッチが正しく動作するか確認します。

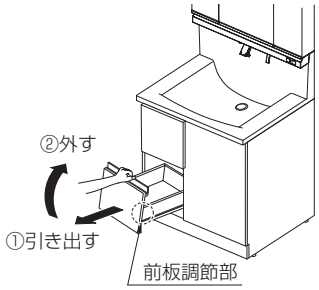
引出しの調節方法

●引出しの仕様はキャビネットにより異なります。3ページで該当タイプをご確認ください。
●引出しを調整する際は、引出し内の収納物をすべて取り出してから行ってください。
●調節は、必ず手回しドライバーを使用してください。

ベースキャビネット・トールキャビネット(2段引出し)の場合

1. 引出しの取外し

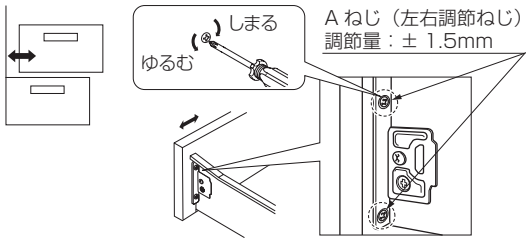
①引出しを最後まで引き出します。
②引出しを持ち上げて外します。



2. 前板の調節

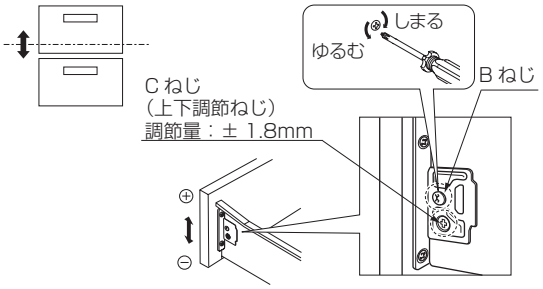
●左右方向の調節

① A ねじを 4 ヶ所すべてゆるめます。
②引出前板を左右に動かして調節します。
③①でゆるめた A ねじを固く締め付けます。



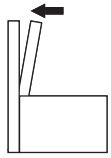
●上下方向の調節

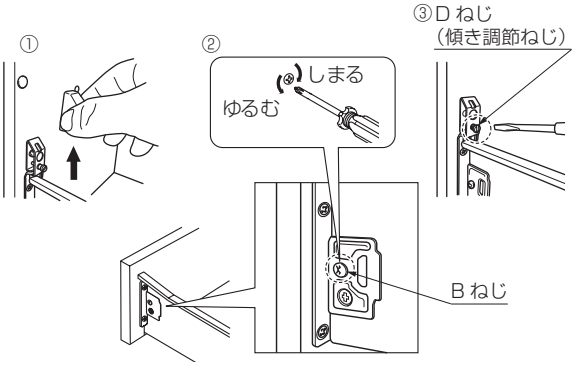
① B ねじをゆるめます。(左へ回す)
② C ねじを回して調節します。
　上に動かす場合：ねじを右に回す
　下に動かす場合：ねじを左に回す
③①でゆるめた B ねじを固く締め付けます。



●傾きの調節（傾き調節金具付きの場合）

①カバーを上に引き抜いて外します。
② B ねじをゆるめます。(左に回す)
③ D ねじを回して調節します。
　手前に倒す場合：ねじを右に回す
　後ろに倒す場合：ねじを左に回す
④②でゆるめた B ねじを固く締め付けます。
⑤①で外したカバーをはめ込みます。

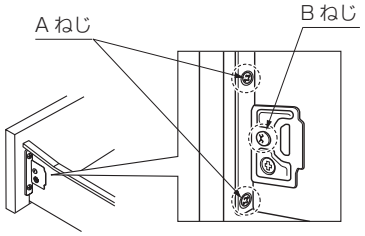




⚠ 注意

調節後、A ねじ B ねじが固く締まっていることを確認してください。

※ねじがゆるんでいると、引出前板が外れて落下し、ケガをする恐れがあります。



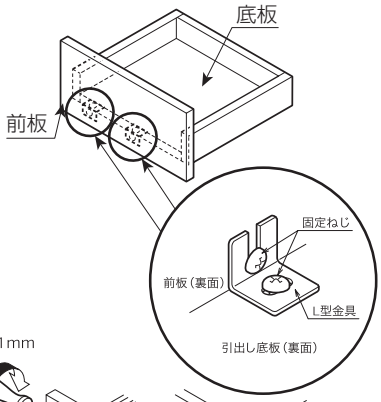
3. 引出しの取付け

取外しと逆の手順で取り付けます。

ベースキャビネット(フルスライドタイプ)の場合

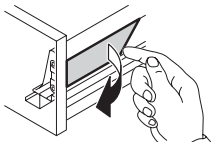
●調節前の準備

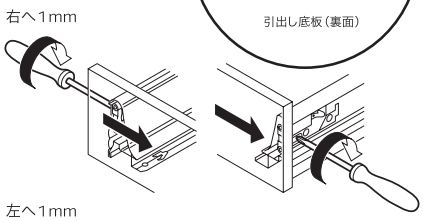
引出し調節(前板の傾き調節以外)を行う際は、引出し前板裏面の、L型金具(2ヶ所)の固定ねじを金具が動く程度にゆるめてから行ってください。
また、調節完了後は必ず固定ねじを締め付け直してください。

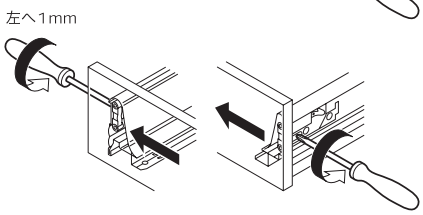


●引出し前板の調節

引出し本体横の化粧カバーを取り外します。





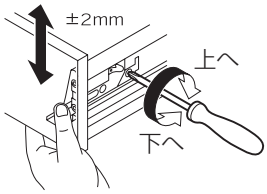


左右の調節

右図のように、左右調節ねじを回して調節します。
　右へ移動する：ねじを右へ回す。
　左へ移動する：ねじを左へ回す。
※調節は、引出し本体の左右共に行ってください。
※調節範囲：左右方向へ各1mm(計2mm)程度。

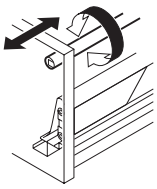
上下の調節

右図のように、上下調節ねじを回し調節します。
　上へ移動する：ねじを右へ回す。
　下へ移動する：ねじを左へ回す。
※調節範囲：上下方向に各2mm(計4mm)程度。



前板の傾き調節

右図のように、サイドギャラリー(パイプ)を回し、前板の傾きを調節します。
　前板を手前へ倒す：左へ(前板正面から見て)回す。
　前板を後方へ倒す：右へ(前板正面から見て)回す。
※サイドギャラリー後方の樹脂部品(グレー色)のねじ部にすき間が残りますが、このすき間は調節しろです。

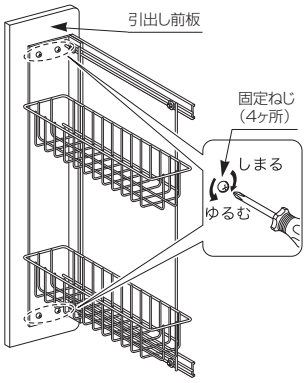


トールキャビネット(間口150タイプ・ランドリータイプ)の場合

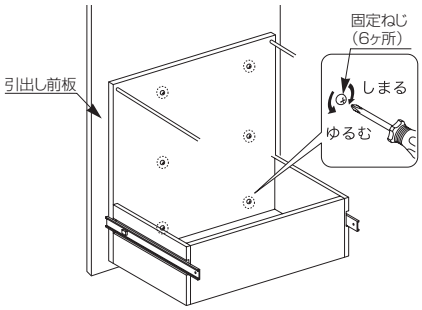
●引出し前板を左右・上下へ調節する

① 前板調節部の固定ねじをすべてゆるめます。

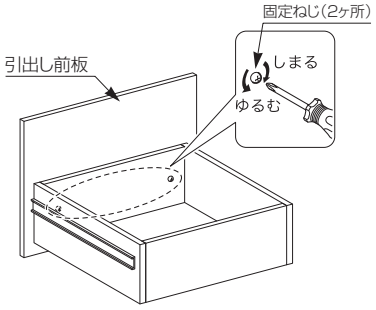
●150サイズトール キャビネット



●ランドリートール キャビネット(下段引出し)

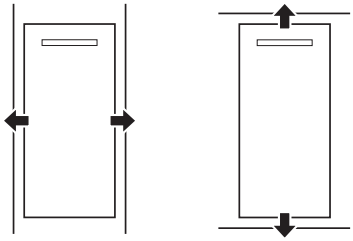


●ランドリートール キャビネット(上段引出し)



② 引出し前板を上下、左右に動かして正しい位置にします。

③ ①でゆるめた固定ねじを固く締め付けます。



左右方向の調節量
2mm

上下方向の調節量
2mm

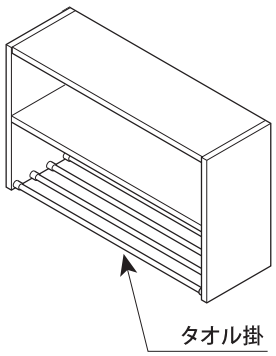
⚠ 注意

調節後は必ず、固定ねじが固く締め付けられていることを確認してください。

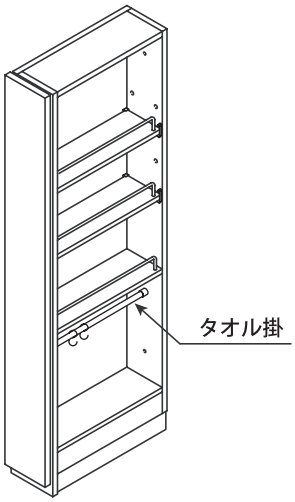
※ゆるんでいると、引出し前板が外れて落下し、ケガをする恐れがあります。

タオル掛がゆるんできたら

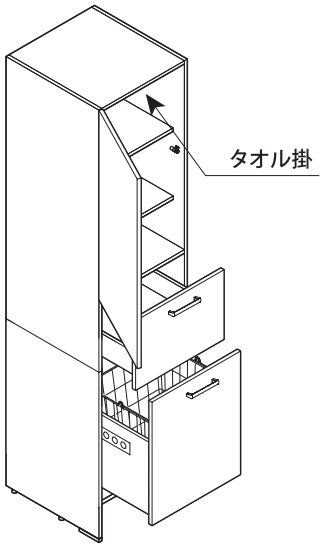
●ランドリーキャビネット



●サイド収納



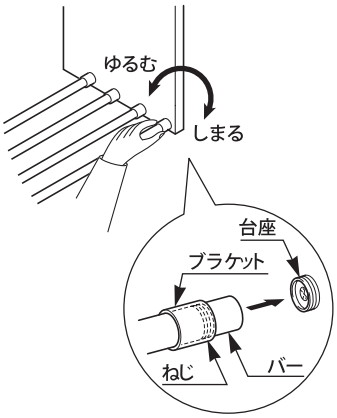
●トールキャビネット
ランドリータイプ



タオル掛がゆるんできたら

ブラケットは、ねじ構造となっています。

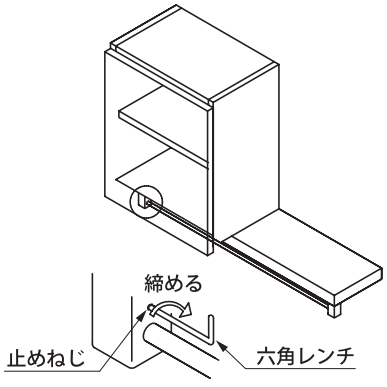
ブラケットを右に回して締めなおしてください。



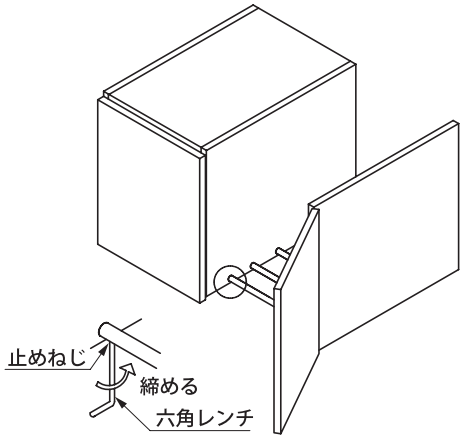
タオル掛が外れたら

① バーにブラケットを通します。
② バーの片側を台座に合わせて、ブラケットを右に回してゆるめに仮付けします。
③ バーの反対側も②と同様に取り付けます。
④ 左右のブラケットを締めなおしてしっかり固定します。

●ランドリーキャビネット
（間口調整付）



●アッパーキャビネット
（間口調整付）



タオル掛がゆるんできたら

止めねじを六角レンチで右に回して締めなおしてください。

冬期凍結の恐れがある場合

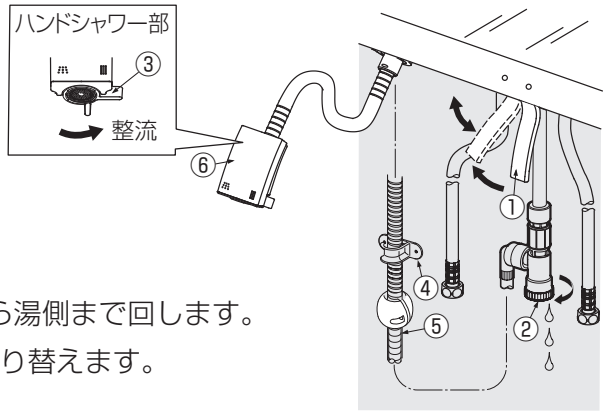
凍結が予想される場合は、次の手順で水栓金具の水抜きをしてください。

水栓金具の水抜き

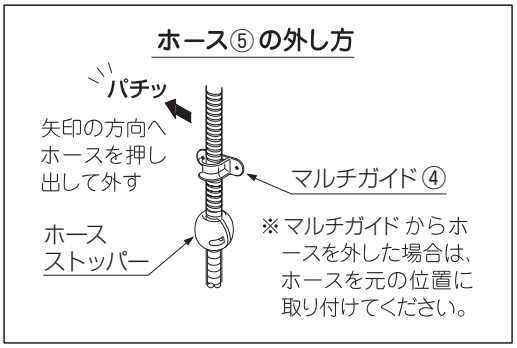
シングルレバーシャワー水栓(LF-HC397SYN-MB)

(1) 建築側配管の元栓にある水抜栓を操作して、水を抜きます。
※電気温水器付の場合は、電気温水器の水抜き操作を行ってください。操作方法は、電気温水器の取扱説明書をご覧ください。

(2) 化粧台本体の引出しを取り外します。
※引出しの取外し方は、17～19ページ「引出しの取外し·取付け」をご覧ください。

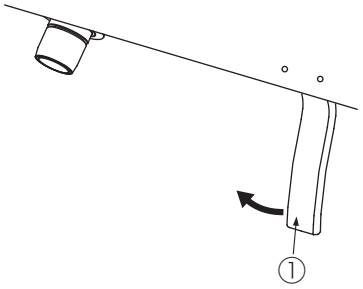


(3) レバーハンドル①を上げて全開にします。
(4) 水抜栓②を開けます。
(5) レバーハンドル①を全開状態で数回、水側から湯側まで回します。
(6) ハンドシャワーの切替レバー③を「整流」に切り替えます。
(7) マルチガイド ④からホース⑤を外します。
(8) ハンドシャワー⑥を引き出し、振って水をよく切ります。
(9) ホース⑤を水抜栓②より上に持ち上げ、上下に振って完全に水を抜きます。
(10) 水栓金具の水が抜けたらレバーハンドル①を閉めます。
(11) マルチガイド④にホース⑤をもどします。
※水抜き完了後は忘れずに水抜栓②を閉めてください。



シングルレバー混合水栓(LF-HC390SY-MB)

(1)(2)は上記同様の操作をします。
(3) レバーハンドル①を全開状態で数回、水側から湯側まで回します。
(4) 水栓の水が抜けたら、レバーハンドル①を閉めます。
※開けたまま放置するとレバーハンドル①を閉止できなくなることがあります。無理な操作をせず通水または自然解凍してください。



故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、修理を依頼される前に下記項目をご確認ください。

■ キャビネット

			参照ページ
Q 扉がガタついている	A 蝶番がゆるんでいる	蝶番の増締めをします。増締めをした後、扉がずれていたら、調節します	P25~26
Q 扉の先端が下がっている		扉のずれを調節します	P26
Q 扉の先端が上がっている			P26
Q 扉と本体のすき間が上下で異なる			P26
Q 扉の位置が上下異なる			P26
Q プッシュ式扉の開閉が滑らかでない	A プッシュラッチの調節が十分でない	ラッチの調節をします	P28
Q フルスライドタイプ・ランドリータイプの引出しの開閉が滑らかでない	A 引出し前板がずれている	引出し前板のずれを調節をします	P30~31
Q ランドリーキャビネットのタオル掛がゆるんできた	A タオル掛のブラケットがゆるんでいる	ブラケットを固定しなおします	P32

■ 水栓金具

			参照ページ
Q 吐出量が少ない（水の勢いが弱い）	A 止水栓が十分開いていない	止水栓を左に回して開けます	P24
	A ストレーナーが目詰まりしている	ストレーナーのそうじをします	P22~23
	A 給湯機器の能力切替が低めに設定されている（給湯の能力が不足している）	給湯機器の能力を高く設定します（給湯機器の取扱説明書を見てください）	
	A 浴室などで湯を使っている	他の場所で湯を使わないようにします	
Q 水が止まらない	A パッキンの寿命や傷み	アフターサービスのページをご確認の上、ご連絡ください	P36
Q 水を止めた後に、少しの間水が垂れる	A 構造上、切替の内部にたまった少量の水が排出される	故障ではありません	

■ 排水口

			参照ページ
Q 水がたまらない	A 排水栓の変形、パッキンの傷み	アフターサービスのページをご確認の上、ご連絡ください	P36
Q 洗面器から水があふれる	A 止水栓が開きすぎている	止水栓を右に回して閉めます	P24
Q 排水しない、あるいは排水がスムーズでない	A 排水口が詰まっている	排水口をそうじします	★
	A 排水管が詰まっている	排水管をそうじします	★
Q 排水栓が開閉しない	A ゴミや砂がかんでいる	排水栓やヘアキャッチャーをそうじします	★

■ 排水管

			参照ページ
Q 漏水する	A 排水管の接続がしっかり締め付けられていない	締付ナットをしっかり締めます	★
	A 排水管のパッキンの傷み・変形	アフターサービスのページをご確認の上、ご連絡ください	P36

※★については「お手入れガイド」をご覧ください。

アフターサービスについて

修理を依頼される前に

商品が故障したら「故障かな？と思ったら」(34ページ)を参照してください。
それでも故障が直らない場合は、お求めの販売店またはINAXメンテナンスにご相談ください。
なお、不具合でなくても下記の場合はご相談ください。

- ●取扱説明書どおりに使用されても、まだ不明な点がある場合
- ●異常を感じたとき

上記の場合そのままにしておくと思わぬ事故につながる恐れがあります。必ずご相談ください。

⚠ 警告

改造や修理技術者以外による分解・修理は行わないでください。
※漏水や感電、発熱・発火による火災の恐れがあります。

保証書をご覧ください

保証書は必ず記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
保証期間は取付日から2年間です。
保証期間中でも、以下の内容によって生じた異常などについては保証の対象となりませんのでご注意ください。

- ●取扱説明書に従わない使用上の誤りによる損傷
- ●取付後の改造、移動、その他変更により生じたもの
- ●火災、地震、その他天災地変により生じたもの
- ●水栓の止水パッキンなどの消耗品

修理を依頼されるとき

修理を依頼されるときは再度本書をよくお読みいただき、ご確認のうえ、なお異常のあるときは
お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

保証期間中の修理

修理に関しては必ず保証書をご提示ください。
保証期間内は保証の規定に従って修理させていただきます。

保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望によって修理いたします。
料金の内訳は、技術料+出張料+部品代です。

連絡していただきたい内容

●おなまえ・おところ・電話番号
●商品名・品番←1ページの「品番を調べる」参照
●取付年月日(保証書に表示)
●故障内容・異常の状況(できるだけ詳しく)←34ページの「故障かな?と思ったら」参照
●ご訪問希望日
※お客さまからご連絡頂く氏名や住所などの個人情報は、商品の点検修理にのみ利用し管理いたします。なお、これらの業務に携わる協力会社へもお客さまの個人情報を開示することがありますが、弊社と同等の管理をいたします。

修理の依頼先・アフターサービスについてのお問い合わせ先

お求めの取扱店、またはINAXメンテナンスに連絡してください。
●お求めの取扱店(保証書に表示)
●INAXメンテナンス　(365日受付)
TEL 0120-1794-11
受付時間9:00～20:00
FAX 0120-1794-56
ホームページアドレス　http://www.i-mate.co.jp

部品の保有期間について

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後6年です。保有期間経過後の修理では、部品がない場合があります。
※補修性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

仕様

洗面化粧台

■化粧台本体　品番一覧 〈コンポタイプ〉

扉タイプ

間口(mm)		750	900
品番	シングルレバーシャワー水栓	LCW1N-755SY(N) LCJ1N-755SY(N)	LCW1N-905SY(N) LCJ1N-905SY(N)
	シングルレバー混合水栓	LCW1N-755Y LCJ1N-755Y	LCW1N-905Y LCJ1N-905Y

引出しタイプ

間口(mm)		750	900	1000	1200
品番	シングルレバーシャワー水栓	LCW1H-755SY(N) LCJ1H-755SY(N)	LCW1H-905SY(N) LCJ1H-905SY(N)	LCW1H-1005SY(N) LCJ1H-1005SY(N)	LCW1H-1205SY(N) LCJ1H-1205SY(N)
	シングルレバー混合水栓	LCW1H-755Y LCJ1H-755Y	LCW1H-905Y LCJ1H-905Y	LCW1H-1005Y LCJ1H-1005Y	LCW1H-1205Y LCJ1H-1205Y

フルスライドタイプ

間口(mm)		750	900	1000	1200
品番	シングルレバーシャワー水栓	LCW1FH-755SY(N) LCJ1FH-755SY(N)	LCW1FH-905SY(N) LCJ1FH-905SY(N)	LCW1FH-1005SY(N) LCJ1FH-1005SY(N)	LCW1FH-1205SY(N) LCJ1FH-1205SY(N)
	シングルレバー混合水栓	LCW1FH-755Y LCJ1FH-755Y	LCW1FH-905Y LCJ1FH-905Y	LCW1FH-1005Y LCJ1FH-1005Y	LCW1FH-1205Y LCJ1FH-1205Y

※高さ対応(+50mm)：本体品番末尾「-U」(LCWのみ対応)
※高さ対応(−50mm)：本体品番末尾「-D」(LCWのみ対応)
※けこみ収納　　：本体品番末尾「-K」(LCWのみ対応・高さ対応(-50mm)には対応していません)

■化粧台本体　仕様表 〈コンポタイプ〉

間口(mm)	750	900	1000	1200
品番	品番一覧(40ページ)をご覧ください			
サイズ(mm) (幅×奥行×高さ)	750×500×1060	900×500×1060	1000×500×1060	1200×500×1060
水栓金具	①シングルレバーシャワー水栓 LF-HC397SY-MB(寒冷地仕様 :LF-HC397SYN-MB) ②シングルレバー混合水栓 LF-HC390SY-MB ※一般地・寒冷地共通			
排水器具	ポップアップ式排水栓セット　LF-LCW5G-A			
本体	木組構造(合板、パーティクルボード)			
カウンター	人造大理石(ポリエステル樹脂系)　洗面ボウル容量　16L　PH-01：プレーンネオホワイト			
扉色	QH2：グロスホワイト　(PETシート化粧板) ZL2：ゼブラウッドミドル　(ウレタンコート紙化粧板) ZZ2：ゼブラウッドブラック　(ウレタンコート紙化粧板) NH2：F-グロスホワイト　(ダップ化粧板) NA2：F-グロスレッド　(ダップ化粧板) NZ2：F-グロスブラック　(ダップ化粧板) VP2：ホワイト　(ウレタンコート紙化粧板) VS2：シルクウッド　(ウレタンコート紙化粧板) VJ2：ダークウッド　(ウレタンコート紙化粧板) **[以下、M-Selection用扉色]** CH2：サテンホワイト　(ウレタンコート紙化粧板) CR2：サテンベージュ　(ウレタンコート紙化粧板) CM2：サテンマホガニー　(ウレタンコート紙化粧板) CZ2：サテンブラック　(ウレタンコート紙化粧板) YS2：グロスホワイト　(ダップ化粧板) LP2：クリエペール　(オレフィンシート) LM2：クリエモカ　(オレフィンシート) LD2：クリエダーク　(オレフィンシート)			
付属品	排水トラップ、排水アダプター、排水プレート			

■化粧台本体の品番の見方

品番								／	色番	
LCW1	FH-	75	5SY	N	-U	K	GL	／	QH2	H
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		⑨	⑩

①LCW1 ‥‥シリーズ名　L.C.＜エルシィ＞
LCJ1 ‥‥‥シリーズ名　L.C.＜エルシィ＞　M-selection

②N ‥‥‥‥‥扉タイプ
H ‥‥‥‥‥引出しタイプ
FH ‥‥‥‥フルスライドタイプ

③75 ‥‥‥‥間口750mm
90 ‥‥‥‥間口900mm
100 ‥‥‥間口1000mm
120 ‥‥‥間口1200mm

④5SY ‥‥‥シングルレバーシャワー水栓(エコハンドル)
5Y ‥‥‥‥シングルレバー混合水栓(エコハンドル)

⑤なし‥‥‥‥一般仕様
N ‥‥‥‥‥寒冷地仕様(一般仕様は品番なし)

⑥U ‥‥‥‥‥高さ850mm
なし‥‥‥‥高さ800mm
D ‥‥‥‥‥高さ750mm

⑦なし‥‥‥‥けこみ収納なし
K ‥‥‥‥‥けこみ収納あり

⑧なし‥‥‥‥標準仕様
G ‥‥‥‥‥引出しタイプドア枠逃がし(左側チリ15mm)
GL ‥‥‥‥フルスライドタイプドア枠逃がし(左側チリ15mm)
GR ‥‥‥‥フルスライドタイプドア枠逃がし(右側チリ15mm)

⑨QH2 ‥‥‥扉色　グロスホワイト
ZL2 ‥‥‥扉色　ゼブラウッドミドル
ZZ2 ‥‥‥扉色　ゼブラウッドブラック
NH2 ‥‥‥扉色　F-グロスホワイト
NA2 ‥‥‥扉色　F-グロスレッド
NZ2 ‥‥‥扉色　F-グロスブラック
VP2 ‥‥‥扉色　ホワイト
VS2 ‥‥‥扉色　シルクウッド
VJ2 ‥‥‥扉色　ダークウッド
————[以下、M-Selection用扉色]————
CH2 ‥‥‥扉色　サテンホワイト
CR2 ‥‥‥扉色　サテンベージュ
CM2 ‥‥‥扉色　サテンマホガニー
CZ2 ‥‥‥扉色　サテンブラック
YS2 ‥‥‥扉色　グロスホワイト
LP2 ‥‥‥クリエペール
LM2 ‥‥‥クリエモカ
LD2 ‥‥‥クリエダーク

⑩H ‥‥‥‥‥洗面ボウル色　プレーンネオホワイト

■その他のキャビネット

共通項目

本体	木組構造(合板、パーティクルボード)
扉色	QH2: グロスホワイト　(PETシート化粧板) ZL2: ゼブラウッドミドル　(ウレタンコート紙化粧板) ZZ2: ゼブラウッドブラック　(ウレタンコート紙化粧板) NH2:F-グロスホワイト　(ダップ化粧板) NA2:F-グロスレッド　(ダップ化粧板) NZ2:F-グロスブラック　(ダップ化粧板) VP2: ホワイト　(ウレタンコート紙) VS2: シルクウッド　(ウレタンコート紙化粧板) VJ2: ダークウッド　(ウレタンコート紙化粧板) ――――――**[以下、M-Selection用扉色]**―――――― CH2: サテンホワイト　(ウレタンコート紙化粧板) CR2: サテンベージュ　(ウレタンコート紙化粧板) CM2: サテンマホガニー　(ウレタンコート紙化粧板) CZ2: サテンブラック　(ウレタンコート紙化粧板) YS2: グロスホワイト　(ダップ化粧板) LP2: クリエペール　(オレフィンシート) LM2: クリエモカ　(オレフィンシート) LD2: クリエダーク　(オレフィンシート)

品名	アッパーキャビネット							
品番	LCW1U-755C LCJ1U-755C	LCW1U-905C LCJ1U-905C	LCW1U-1005C LCJ1U-1005C	LCW1U-1205C LCJ1U-1205C	LCWU-155C LCJU-155C	LCWU-255C LCJU-255C	LCWU-305C LCJU-305C	LCWU-455C LCJU-455C
サイズ(mm) (幅×奥行×高さ)	750×490×400	900×490×400	1000×490×400	1200×490×400	150×490×400	250×490×400	300×490×400	450×490×400
付属品	–							

品名	アッパーキャビネット(間口調整付)	
品番	LCWU-655FL(R) LCJU-655FL(R)	LCWU-755FL(R) LCJU-755FL(R)
サイズ(mm) (幅×奥行×高さ)	650×490×400	750×490×400
付属品	–	

品名	トールキャビネット							
品番	LCW1S-155MR(L)	LCJ1S-155R(L)	LCW1S-255 LCJ1S-255	LCW1S-305 LCJ1S-305	LCWS-305DL(R) LCJS-305DL(R)	LCW1S-305ML(R)	LCW1S-455 LCJ1S-455	LCWS-455DL(R) LCJS-455DL(R)
サイズ(mm) (幅×奥行×高さ)	150×490×1900	150×490×1900	250×490×1900	300×490×1900	300×490×1900	300×490×1900	450×490×1900	450×490×1900
付属品	棚板(2枚) タオル掛(1個)	棚板(3枚)	棚板(2枚)	棚板(2枚)	棚板(2枚) 網カゴ(1個)	棚板(2枚) 網カゴ(3個)	棚板(2枚)	棚板(2枚) 網カゴ(1個) 体重計収納(1個)

品名	ミドルキャビネット	ランドリーキャビネット		ランドリーキャビネット(間口調整付)	
品番	LCWK-252C LCJK-252C	LCVKO-652	LCVKO-752	LCWK-652FL(R) LCJK-652FL(R)	LCWK-752FL(R) LCJK-752FL(R)
サイズ(mm) (幅×奥行×高さ)	250×225×400	650×208×400	750×208×400	650×225×400	750×225×400
付属品	棚板(1枚)	タオル掛(4個)	タオル掛(4個)	棚板(1枚) タオルバー(1個)	棚板(1枚) タオルバー(1個)

品名	L型収納パック(両側パネル)	L型収納パック(パネル+対面収納)
品番	LCWS-2513SE	LCWS-2517S
サイズ(mm) (幅×奥行×高さ)	960～1360×250×1900	1305～1705×275×1900
付属品		

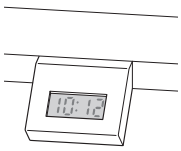
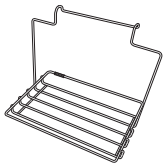
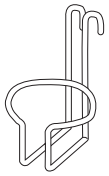
品名	スキマ収納カウンター	スキマ収納カウンターラックセット
品番	BB-AR1	BB-AR2
サイズ(mm) (幅×奥行×高さ)	470×130×60	470×130×600
付属品	–	–

※高さ対応(+50mm):本体品番末尾「-U」(LCW1のみ対応)

※高さ対応(−50mm):本体品番末尾「-D」(LCW1のみ対応)

※けこみ収納　　:本体品番末尾「-K」(LCW1のみ対応・高さ対応(−50mm)には対応していません)

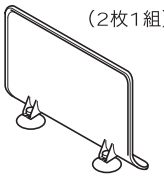
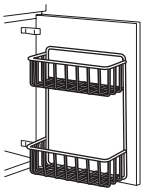
オプション品・交換部品

品名	システムラック用 時計	システムラック用 網棚	システムラック用 カップホルダー
品番	BM-MLCV-WT	BM-LCW3-22	BM-LC3-C
主な材質	本体カバー :ABS樹脂	ステンレス	ステンレス
サイズ(mm) (幅×奥行×高さ)	66×30×77	220×125×150	85×95×175
外観			
		※商品の使い方は、21ページをご参照ください。	
価格	￥2,100	￥2,100	￥2,100

●システムラック用部品(時計・網棚・カップホルダー)は化粧台棚の溝に引っ掛けて使用します。(21ページ参照)

引っ掛ける溝の範囲(幅)は下記のとおりです。取付け可能なシステムラック用部品の寸法、個数を確認のうえ、ご購入ください。

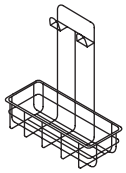
- 750mm…150mm
- 900mm…225mm
- 1000mm…275mm
- 1200mm…375mm

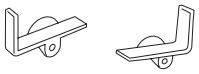
品名	サイドバスケット	シャワースクリーン	扉用バスケット
品番	BB-TD1-23	BB-PD2	BB-EX5
主な材質	鉄線PEコーティング	HIPS樹脂	鉄線PEコーティング
サイズ(mm) (幅×奥行×高さ)	400×200×425	400×66×202	200×100×300
外観			
	※商品の使い方は、21ページをご参照ください。		
価格	￥4,700	￥5,800	￥1,500

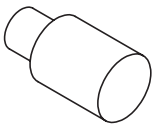
※価格は2011年4月現在のものです。(税別)

※仕様・価格は予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

オプション品

品名	サイドワゴン （脱衣カゴタイプ）	サイドワゴン （収納棚タイプ）	スキマ収納用ラック
品番	BB-FCW60A	BB-FCW60T	BB-AR2-R
主な材質	鉄線PEコーティング	鉄線PEコーティング	ステンレス・チューブ付
サイズ(mm) （幅×奥行×高さ）	225×430×450	225×430×450	394×550×128
外観			
価格	￥18,000	￥18,000	￥8,000

品名	L型収納用棚板	ヘアキャッチャー	棚受け（4個入り）
品番	BB-LCW-T130	LF-LCW-HC	JBS-544
主な材質	ポリ合板	—	—
サイズ(mm) （幅×奥行×高さ）	1,300×250×30	67×67×97	55×10×25
外観			
価格	￥15,000	￥2,800	￥1,000

品名	棚受けダボ（4個入り）
品番	BTD-1
主な材質	ブロンズメッキ
サイズ(mm) （幅×奥行×高さ）	6×16
外観	
価格	￥120

※価格は2012年4月現在のものです。(税別)

※仕様・価格は予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

交換部品およびオプション品の購入方法

交換部品の名称と品番をご指定ください

販売店などで購入される場合	宅配サービスをご利用される場合
INAX商品の販売店、またはお近くのLIXILショールームでお求めください。	INAXメンテナンス（ダイレクト販売事業部）の宅配サービスにて承ります。 （宅配サービスの場合は、送料が別途必要となります。） **0120-00-1794** 受付時間9：00～17：00 （夏期・年末年始の休みを除く）

廃棄について

洗面化粧台、その他のキャビネットを廃棄処分する場合は、許可を受けている処理業者に処理を依頼してください。

保証書

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求めの取扱店に修理をご依頼ください。
※ 品番・取付日・お客さま・取扱店の欄に記載のない場合は、無効になります。

品名または品番： 洗面化粧台 L.C.〈エルシィ〉		
保証期間 取付日より　2ヶ年		取付日 年　月　日
お客さま	おなまえ おところ おでんわ （　　）　ー	取扱店名 TEL　（　　）　ー

無効

お客さまへ
・保証書は再発行しませんので、紛失されないよう大切に保管してください。
・お客さまにご記入いただくこの保証書の個人情報につきましては、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます。

無料修理規定（保証規定）

1．「取扱説明書」・「ラベル」などの注意書に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
2．無料修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
3．ご転居、ご贈答品などで、本書に記載の取扱店に修理を依頼できない場合は、取扱説明書に記載のお客さま相談センターまたはINAXメンテナンスにご相談ください。
4．保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。（免責事項）
(1) 用途以外（車両、船舶及び使用頻度が極度に高い業務用など）に使用した場合の故障及び損傷などの不具合
(2) 指定業者や取付説明書などに基づかない取付け及び工事に起因する不具合
(3) お客さまが適切な使用・維持管理を行わなかった事による故障及び損傷などの不具合
(4) 専門業者以外による移動・修理・分解などに起因する不具合
(5) 建築躯体の変形（強度不足・ゆがみ）など製品以外の不具合に起因する当該製品の不具合
(6) 経年変化使用に伴う外観上の現象（塗装の色あせ、もらい錆など）または使用に伴う消耗部品の摩耗などにより生じる不具合
(7) 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境及び公害環境（煤煙、塩害、砂塵、各種金属粉、硫化水素ガスなど各種ガス）に起因する不具合
(8) 小動物（犬、猫、ねずみ、昆虫など）の行為または蔓（つる）や根などの植物の害に起因する不具合
(9) 天災地変（火災、爆発など事故、落雷、地震・噴火・風水害・津波、地盤沈下、凍結、雪害など）に起因する不具合による故障及び損傷
(10) 戦争・暴動など破壊行為または犯罪などの不法行為に起因する破損や不具合
(11) 自然現象や住環境に起因する結露・染み出し・かびなどの現象
(12) 消耗品（パッキン）類、配管中の異物のつまりなどによる故障および損傷
(13) 水道水以外を給水したことによって生じた故障及び損傷
（※水道水とは、水道事業体が供給する上水をいう。）
(14) 寒冷地仕様でない製品の場合の凍結による故障及び損傷
(15) 給水・給湯配管の錆、砂やごみなどの異物の配管内流入及び水あか固着に起因する不具合
(16) ガス・電気・給水などの供給で指定された以外の環境（異常ガス圧、異常電源・電圧・周波数、異常電磁波、異常水圧・水質、音、振動など）に起因する故障及び損傷などの不具合
(17) 保証書の期限切れまたは提示がない場合
(18) 本書にお取付日・お客さまのお名前・取扱店名の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合
5．本書は日本国内においてのみ有効です。
6．本書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明な場合、お買い求めの取扱店または取扱説明書に記載のお客さま相談センターにお問い合わせください。
7．修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造打切後　6ヶ年です。

商品のお問い合わせはお客さま相談センターへ
TEL 0120-1794-00
FAX 0120-1794-30
受付時間：平日　9:00～18:00
土日・祝日　10:00～18:00
（ゴールデンウィーク・夏期・年末年始の休みは除く）

修理のご依頼はINAXメンテナンスへ
TEL 0120-1794-11
FAX 0120-1794-56
受付時間：9:00～20:00（365日受付）

株式会社 LIXIL

ホームページアドレス　http://www. lixil. co. jp/

使い方・お手入れ方法等、商品についてのお問い合わせは

お客さま相談センター

TEL 0120-1794-00　　FAX 0120-1794-30

受付時間　平日　　9:00 ～ 18:00

土日・祝日　10:00 ～ 18:00（ゴールデンウィーク、夏季、年末年始の休みは除く）

※フリーダイヤルは、携帯電話・PHS・IP 電話等ではご利用になれない場合がございます。

下記番号をご利用ください。

TEL.0562-40-4050　FAX.0562-40-4053

修理のご依頼は（本文の「アフターサービスについて」をお読みください）

お求めの取扱店または

INAX メンテナンス　修理受付センター　（365 日受付）

TEL 0120-1794-11　受付時間　9:00 ～ 20:00

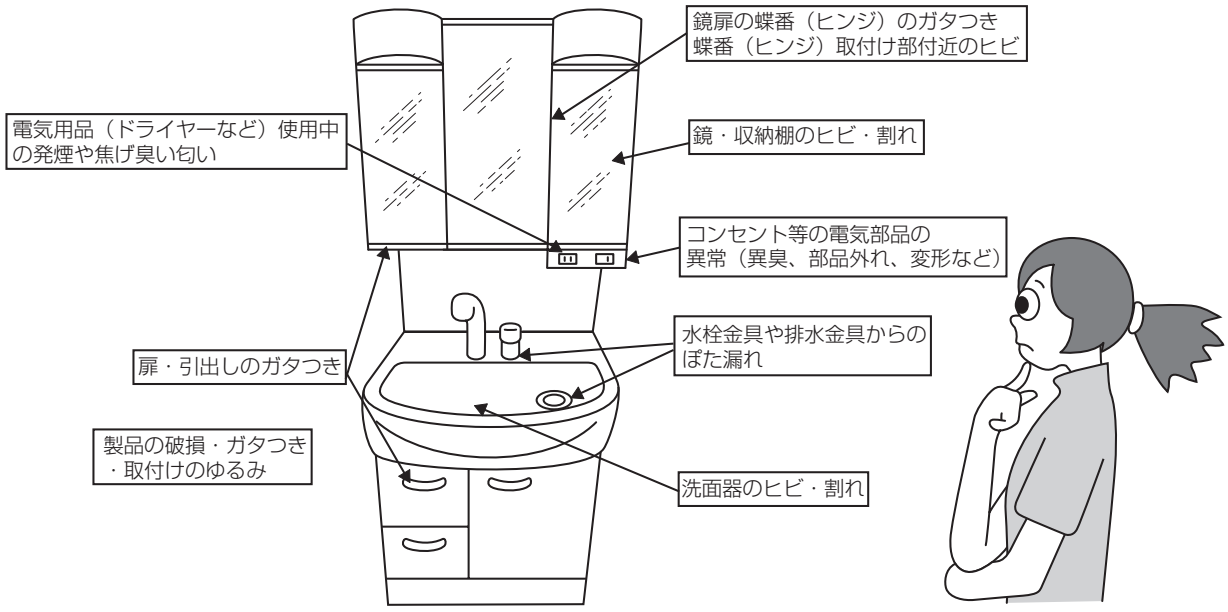
FAX 0120-1794-56

ホームページアドレス　http://www.i-mate.co.jp

●当社は、当社取扱商品のユーザーさまおよび流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンスなど、当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

インターネット・ホームページ・アドレス　http://www.lixil.co.jp/

こんな症状が見られたら、お求めの取扱店またはＩＮＡＸメンテナンスに修理をご依頼ください。



袋:PE